

全国植樹祭の概要

[一覧へ戻る](#)[開催報告](#)[大会の概要](#)[大会テーマ・シンボルマーク等](#)[関連行事](#)[富山県実行委員会](#)[各種計画](#)[お手植え・お手播き樹種](#)

富山県実行委員会

2016年7月25日(月)

第4回総会

去る平成28年7月20日(水)、ホテルグランテラス富山(富山市)において、第68回全国植樹祭富山県実行委員会第4回総会を開催しました。

総会の概要

- 1 日時 平成28年7月20日(水) 午後2時~3時
- 2 場所 ホテルグランテラス富山(富山市桜橋通り2-28)
- 3 議題
 - (1) 第68回全国植樹祭実施計画 中間取りまとめ(案)について
 - (2) 第68回全国植樹祭富山大会開催に向けた機運醸成等について
 - (3) 平成27年度事業報告及び収支決算について
 - (4) 平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- 4 その他
 - ・今後のスケジュールについて

[イベント情報](#)[全国植樹祭だより](#)[開催に向けた取り組み](#)[苗木のホームステイ](#)[一般参加者募集](#)[入札情報](#)[シンボルマーク等の使用について](#)[寄附者一覧](#)[富山県・会場へのアクセス](#)[よくある質問](#)[お問い合わせ](#)[関連リンク一覧](#)

主な意見

- ・式典演出においては、立山や蜷気楼のPRなども考慮していただきたい。
- ・地域リレー植樹など各市町村でのイベントについて、住民に伝わるようなPRをしていただきたい。
- ・トイレの混雑回避に向けた検討をお願いしたい。
- ・植樹後もきちんと育つよう、その後の管理についても検討いただきたい。

[次第 \[PDF : 105KB\]](#)[出席者名簿 \[PDF : 241KB\]](#)[資料1 第68回全国植樹祭実施計画 中間取りまとめ\(案\) \[PDF : 8109KB\]](#)[資料2 第68回全国植樹祭富山大会開催に向けた機運醸成等 \[PDF : 1029KB\]](#)[資料3~資料6 平成27年度事業報告等 \[PDF : 569KB\]](#)[資料7 今後のスケジュール \[PDF : 47KB\]](#)[参考資料1 前回総会での意見に対する対応\(案\) \[PDF : 189KB\]](#)[参考資料2 第68回全国植樹祭富山県実行委員会会則 \[PDF : 297KB\]](#)



お問い合わせ先

富山県農林水産部森林政策課全国植樹祭推進班

〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1番7号

TEL076-444-4077 FAX076-444-3390



[当HPへのリンクについて](#)

[サイトポリシー](#)

Copyright(c) 第68回全国植樹祭富山県実行委員会 All rights reserved.

第 68 回全国植樹祭富山県実行委員会 第 4 回総会

次 第

日時 : 平成28年 7 月20日 (水) 14:00～
場所 : ホテルグランテラス富山 4階瑞雲

1 開 会

2 議事事項

- (1) 第68回全国植樹祭実施計画 中間取りまとめ(案) について [資料 1]
- (2) 第68回全国植樹祭富山大会開催に向けた機運醸成等について [資料 2]
- (3) 平成27年度事業報告及び収支決算について [資料 3・4]
- (4) 平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)について [資料 5・6]

3 その他

- ・ 今後のスケジュールについて [資料 7]

【配付資料】

- [資料 1] 第68回全国植樹祭実施計画 中間取りまとめ (案)
- [資料 2] 第68回全国植樹祭富山大会開催に向けた機運醸成等
- [資料 3] 平成27年度事業報告
- [資料 4] 平成27年度収支決算
- [資料 5] 平成28年度事業計画 (案)
- [資料 6] 平成28年度収支予算 (案)
- [資料 7] 今後のスケジュール
- [参考資料 1] 前回総会 (H28. 1. 22) での意見に対する対応 (案)
- [参考資料 2] 第68回全国植樹祭富山県実行委員会会則

第68回全国植樹祭富山県実行委員会 第4回総会 出席者名簿

平成28年7月20日(水) 14:00～ ホテルグランテラス富山(4階 瑞雲)

役職等	団体名	団体役職	氏名	出欠	代理(役職・氏名)
会長	富山県	知事	石井 隆一	○	
副会長	富山県議会	議長	大野 久芳	欠	
	公益社団法人 とやま緑化推進機構	理事長	高木 繁雄	○	
	魚津市	市長	村椿 晃	○	
学識者	富山大学	学長	遠藤 俊郎	○	
	富山国際大学	学長	中島 恭一	欠	
林業・ 緑化団体	富山県山林協会	会長	堂故 茂	欠	
	富山県森林組合連合会	代表理事会長	桃野 忠義	○	
	富山県木材組合連合会	会長	西村 亮彦	○	副会長専務理事 宮長 悟
	公益社団法人 富山県農林水産公社	理事長	須沼 英俊	○	専務理事 祖川 信一
	富山県素材生産組合	理事長	島田 勝由	○	
	富山県林業研究グループ協議会	会長	宇井 展生	○	
	富山県樹苗緑化協同組合	理事長	加茂 輝隆	○	
	一般社団法人 富山県緑化造園土木協会	会長	加茂 輝隆	○	専務理事 村上 洋
	公益財団法人 花と緑の銀行	理事長	須沼 英俊	○	専務理事 定村 剣次
富山県花とみどりの少年団連絡協議会	会長	桃野 忠義	○		
農水団体	富山県農業協同組合中央会	会長	伊藤 孝邦	○	専務理事 山瀬 洋明
	富山県土地改良事業団体連合会	会長	河合 常則	○	専務理事 永森 雅之
	富山県漁業協同組合連合会	代表理事会長	尾山 春枝	○	
	富山県内水面漁業協同組合連合会	代表理事会長	米澤 博孝	欠	
建設・ 建築団体	一般社団法人 富山県建設業協会	会長	近藤 駿明	○	事務局長 加藤 伸二
	一般社団法人 富山県建築組合連合会	会長	丸田 和重	欠	
	公益社団法人 富山県建築士会	会長	中野 健司	○	
経済団体	富山県商工会議所連合会	会長	高木 繁雄	○	
	富山県商工会連合会	会長	石澤 義文	○	専務理事 池田 進
	一般社団法人 富山県経営者協会	会長	金岡 克己	欠	
	富山経済同友会	代表幹事	久和 進	○	環境問題委員長 東澤 善樹
観光団体	公益社団法人 とやま観光推進機構	会長	高木 繁雄	○	副会長・専務理事 朝倉 隆文
青少年・ 女性団体	富山県婦人会	会長	岩田 繁子	○	
	富山県母親クラブ連合会	会長	和田 麗子	○	
	社会福祉法人 富山県社会福祉協議会	会長	岩城 勝英	欠	
環境団体	公益財団法人 とやま環境財団	理事長	永原 功	○	専務理事 藤平蔵 芳光
	公益財団法人 環日本海環境協力センター	理事長	鈴木 基之	○	常務理事・事務局長 川崎 清人
文化団体	一般社団法人 富山県芸術文化協会	会長	吉田 泉	○	
教育団体	富山県PTA連合会	会長	米屋 慎一	○	副会長 深松 茂
輸送団体	西日本旅客鉄道 株式会社 金沢支社	支社長	児島 邦昌	○	北陸広域鉄道部総務科長 東出 和浩
	公益社団法人 富山県バス協会	会長	桑名 博勝	○	
	富山県タクシー協会	会長	土田 英喜	○	専務理事 清澤 新一
県議会	富山県議会 農林水産委員会	委員長	向 栄一郎	○	
国	林野庁 中部森林管理局	局長	新島 俊哉	○	富山森林管理署長 中島 孝雄
市町村	富山市	市長	森 雅志	○	農林水産部長 篇原 幸則
	高岡市	市長	高橋 正樹	○	農地林務課長 畑 道宏
	氷見市	市長	本川 祐治郎	○	建設農林水産部長 表 良広
	滑川市	市長	上田 昌孝	○	農林課長 片口 和人
	黒部市	市長	堀内 康男	○	農林整備課長 山本 稔浩

第68回全国植樹祭富山県実行委員会 第4回総会 出席者名簿

市町村	砺波市	市長	夏野 修	○	商工農林部長 牧野 裕亮
	小矢部市	市長	桜井 森夫	○	産業建設部長 高木 利一
	南砺市	市長	田中 幹夫	欠	
	射水市	市長	夏野 元志	○	産業経済部長 稲垣 和成
	舟橋村	村長	金森 勝雄	○	
	上市町	町長	伊東 尚志	○	産業課長 竹田 亮成
	立山町	町長	舟橋 貴之	欠	
	入善町	町長	笹島 春人	○	建設課長 窪野 修
	朝日町	町長	笹原 靖直	○	農林水産課長代理 加藤 優志
	魚津市議会	議長	関口 雅治	○	
県	富山県	知事政策局長	新田 一郎	○	知事政策局主幹 奥井 研一
	富山県	観光・地域振興局長	亀井 明紀	○	観光・地域振興局次長 夏野 光弘
	富山県	生活環境文化部長	山本 修	○	理事・生活環境文化部次長 長坂 雄一
	富山県	厚生部長	蔵堀 祐一	○	厚生部次長 山本 公生
	富山県	農林水産部長	伍嶋 二美男	○	
	富山県	土木部長	加藤 昭悦	○	土木部次長 吉川 禎
	富山県教育委員会	教育長	渋谷 克人	○	教育企画課長 五十里 栄
	富山県警察本部	本部長	伊藤 泰充	○	
監事	富山県	会計管理者	上田 順子	○	
	魚津市	会計管理者	中村 重明	○	
参与	株式会社 北日本新聞社	代表取締役社長	板倉 均	○	経営企画室長 松井 裕
	株式会社 富山新聞社	代表	宮本 佐智夫	欠	
	株式会社 読売新聞 東京本社北陸支社富山支局	支局長	軍地 哲雄	欠	
	株式会社 朝日新聞社 富山総局	総局長	中川 恒	欠	
	株式会社 毎日新聞社 富山支局	支局長	堀川 剛護	○	
	株式会社 中日新聞社 北陸本社富山支局	支局長	松石 健治	○	
	株式会社 日本経済新聞社 富山支局	支局長	伊藤 新時	欠	
	一般社団法人 共同通信社 富山支局	支局長	原 真	欠	
	株式会社 時事通信社 富山支局	支局長	佐藤 信人	欠	
	日本放送協会 富山放送局	局長	松井 治伸	○	放送部長 佐藤 雄二
	北日本放送 株式会社	代表取締役社長	横山 哲夫	○	常務取締役 水野 清
	富山テレビ放送 株式会社	代表取締役社長	中西 修	○	取締役事業局長 福村 文治
	株式会社 チューリップテレビ	代表取締役社長	山下 清胤	○	取締役営業局担当 竹田 光宏
	株式会社 テレビ朝日 富山支局	支局長	塚本 幸子	欠	
	富山エフエム放送 株式会社	代表取締役社長	小山 孝義	○	
	株式会社 日刊工業新聞社 富山支局	支局長	渡邊 大介	○	
	一般社団法人 富山県ケーブルテレビ協議会	理事長	本林 敏功	○	理事 中尾 登志男

実行委員 計 63 名(重複含む) 出席者 54 名
委員等(全体) 計 82 名(重複含む) 出席者 66 名

事務局	富山県 農林水産部次長	河村 幹治
	富山県 農林水産部参事	清水 真人
	富山県 農林水産部 森林政策課長	佐藤 宏
	富山県 農林水産部 森林政策課 全国植樹祭推進班長	草島 すなお



第68回

全国植樹祭とやま2017

かがやいて 水・空・緑のハーモニー

実施計画 中間とりまとめ(案)



富山県

第1章 開催概要

1. 開催意義	1
2. 開催理念	2
3. 富山県の特徴を活かした大会の基本方針	2
4. 大会テーマ	3
5. シンボルマーク	3
6. 大会ポスター原画	3
7. 開催日	4
8. 主催	4
9. 開催規模	4
10. 開催会場	4

第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方	6
2. 式典行事の運営	6
3. 式典進行プログラム	7
4. 式典演出の概要	8

第3章 植樹行事計画

1. 基本的な考え方	11
2. お手植え計画	11
3. お手播き計画	14
4. 招待者記念植樹計画	16
5. 植樹要領	17
6. 植樹会場整備計画	18

第4章 会場整備計画

1. 基本的な考え方	23
2. 施設配置計画	23
3. 主要施設計画	26
4. 案内・誘導計画	28
5. 飾花計画	29
6. 電気・給排水・通信設備計画	30

第5章 運営計画

1. 基本的な考え方	31
2. 招待計画	31
3. 参加者の行動計画	32
4. 受付計画	34
5. 作品御覧・レセプション計画	35
6. 会場内動線計画	36
7. 会場おもてなし計画	37
8. 実施本部計画	39

第6章 宿泊輸送計画

1. 基本的な考え方	40
2. 宿泊計画	41
3. 輸送計画	42

第7章 荒天時式典計画

1. 基本的な考え方	44
2. 開催会場	44
3. 参加者一覧	44
4. 荒天時運営計画	45

第8章 記念事業等計画

1. 基本的な考え方	46
2. 記念事業の内容	47
3. 関連事業の内容	48

第9章 広報計画

1. 基本的な考え方	49
2. 広報計画	49

第1章 開催概要

1. 開催意義

本県は、標高3,000メートル級の北アルプス立山連峰から、森林・里山地域、平野、そして水深1,000メートルの神秘の海富山湾まで高低差4,000メートルのダイナミックで変化に富んだ地形を有しています。これを背景とした本州随一を誇る植生自然度に象徴される豊かな自然環境は、ライチョウ等の貴重な野生生物をはじめ多様な動植物を育み、私たちの生活の基盤である大気や水をはじめ、おいしいお米や種類豊富でキトキトの魚に代表される食の恵みをもたらすなど、私たちの命と暮らしを支えています。さらにこの多様な自然は、農林水産業をはじめとしたさまざまな地域産業の振興に寄与するとともに、井波彫刻や庄川挽物木地に代表される伝統工芸、国宝瑞龍寺、世界遺産・五箇山合掌造り集落などの地域特有の文化を育んできました。

一方、かつて山村住民とのかかわりの中で維持・管理されてきた里山林は、昭和30年代以降の生活様式の変化等により利用されなくなり、明るい林を好む動植物が減少する一方で、クマなどの大型動物が人里近くまで活動域を広げる要因にもなってきました。このため、平成19年度から導入した「水と緑の森づくり税」を活用し、生物多様性の保全や野生生物との共生を目指した里山の整備・保全を県民の協働で進めています。

また、「森は海の恋人」といわれるように、豊かな森が豊かな水と豊かな海を育みます。本県でも林業関係者と漁業関係者が協力して森林整備活動や魚礁の設置など様々な取組みが進められています。平成27年10月に開催された第35回全国豊かな海づくり大会を契機として、森・川・海を一体として捉えた環境保全に関する意識が高まっており、今後、ますます森づくりと海づくりの連携が深まっていくものと考えています。

他方、本県の森林の約19%にあたる54千haを占めるスギを中心とした人工林については、その多くが間伐等の手入れが必要な林齢から、木材として利用可能な林齢へと資源の充実を迎えています。今、我々はこの身近な木材を有効に活用することが林業・木材産業の振興にとって不可欠です。

こうした中、本県では国民病ともいわれている花粉症対策として、花粉を全く飛ばさない優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を全国に先駆けて開発しました。伐採後の再生林にこの「立山 森の輝き」を積極的に活用し、その伐採・利用と再生林による適正な森林更新を積極的に進め、均衡の取れた林齢構成の持続可能な森づくりにより森林資源の循環利用を促進していく必要があります。

北陸新幹線開業まもない時期に全国から多くの林業関係者をお迎えして開催することから、この機会を活かして、本県の豊かな森づくりの取組みが大きく前進する意義のある大会とします。

《 富山県における全国植樹祭の開催状況 》

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑化に対する国民的理解を深めるため、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により行う国土緑化運動の中心的行事です。

大会には、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、開催都道府県はもとより全国から多くの方々に参加していただき、式典行事や記念植樹などが行われています。

本県では、昭和44年5月、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、砺波市頼成で第20回大会を開催しました。両陛下には、タテヤマスギ、ボカスギ、マスヤマスギの苗木のお手植えを賜るとともに、県内外からの12,000人の参加者により、スギ15,000本の植樹が行われました。



2. 開催理念

私たちは、全国植樹祭の開催を契機に、県民参加による健全な森づくりの一層の推進と森林資源の循環利用の促進による林業再生を図るとともに、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育てる県民の活発な実践活動やそこで育まれた歴史・文化など富山県の数多くの魅力を全国に発信し、緑あふれる自然といきいきと人が輝くふるさとを未来へつなぎます。

3. 富山県の特徴を活かした大会の基本方針

(1) 豊かな森を育て、林業・木材産業の明るい未来へつなげていく大会

① 県民参加による多様な森づくりの推進

本県では、平成18年に「富山県森づくり条例」を制定し、平成19年度から「水と緑の森づくり税」を活用して、地域住民との協働による里山再生や、先駆的な支援を行っている「とやまの森づくりサポートセンター」を通じた、ボランティアグループや企業をはじめ幅広い県民参加の森づくり活動に取り組んでいます。

この大会を県民参加の森づくり活動をさらに広げる契機とし、本県の豊かな森を県民共通のかけがえのない財産として、次の世代に引き継いでいきます。

② 持続可能な森づくりの推進と県産材活用による林業・木材産業の振興

本県の人工林は全国と同様に主伐期を迎えていることから、伐採・利用と再造林による適正な森林更新を積極的に進め、均衡の取れた林齢構成の持続可能な森づくりを推進する必要があります。

この大会では、県産材を積極的に活用し木の良さをPRすることにより、森林資源の循環利用を促進し、林業・木材産業の振興につなげていきます。

③ 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の発信

本県では、国民の約3割が罹病し、国民病ともいわれている花粉症対策として、花粉を全く飛ばさない優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を全国に先駆けて開発しました。この人に優しい無花粉スギを持続可能な森づくりを推進する上で必要な植林（再造林）の切り札として全国に普及します。

(2) 森づくりと海づくりの連携の推進

本県では、豊かな森が豊かな水と豊かな海を育むことから、漁業関係者が林業関係者などと協力して森林整備活動を実施し、地元の間伐材を活用した魚礁を設置するなど、海づくりと森づくりの連携が進んでいます。平成27年10月に開催された第35回全国豊かな海づくり大会を契機として、森・川・海的环境保全や森づくりと海づくりの連携の重要性についての認識が、より多くの県民の皆さんの間に広まりました。

この大会では、この成果を引き継ぎ、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育てる県民の活発な実践活動を全国に発信し、一層の推進を目指します。

(3) 雄大な自然など富山県の魅力発信

立山連峰に代表される雄大な自然や植生自然度本州随一の豊かな森林が、世界的にも珍しい「神秘の海富山湾」やそこで獲れる種類豊富でおいしい富山の魚と食文化、国宝瑞龍寺や世界遺産・五箇山合掌造り集落など歴史ある伝統・文化、さらには、井波彫刻や庄川挽物木地といった伝統産業を育んできました。こうした本県の気候風土に育まれた富山の宝ともいえる数多くの魅力を全国に発信します。

(4) 「おもてなしの心」で「温かみ」のある大会

北陸新幹線開業まもない大会であることから、県外からの多くの招待者などに対して、関係者はもとより県民全体で「おもてなしの心」で対応し、富山にまた来たいと思われるような「温かみ」のある大会とします。

4. 大会テーマ

全国から応募のあった1,434点の作品の中から、大会テーマ審査会で選定しました。

『 かがやいて 水・空・緑のハーモニー 』

作 者 : 濱田 典佳 (はまだ のりか) さん (富山県黒部市)

制作意図 : 富山の川、海、森林や空といった自然が調和して、私たち人間にさまざまな恩恵を与えてくれる様子を表現した。

選定理由 : 森・川・海の言葉を使わずに、立山連峰から富山湾までの輝きが映像のように浮かんでくる作品で、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」や北陸新幹線「かがやき」が連想されるとともに、森づくりと海づくりの連携などの大会の基本方針が親しみやすい言葉で表現されている。

5. シンボルマーク

作 者 : Shio Design 塩崎 歩美 氏 (「きときと君」のデザイナー)

制作意図 : 若葉とシャベルを手に植樹のお手伝いをする「きときと君」を中心に、周りに立山連峰から本県の豊かな森(優良無花粉スギ「立山 森の輝き」)、富山湾とそこに流れ込む川を配し、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育て、輝くふるさと富山を未来へつなぐ県民の姿をイメージしたもの



6. 大会ポスター原画

富山県内の小・中学校の児童生徒から応募のあった654点の作品の中から、大会ポスター原画審査会で選定しました。

画 題 : 「森と水と」

作 者 : 浅井 さくらさん (富山市立東部中学校3年)
※平成27年度現在

制作意図 : 森が豊かになれば、水も栄養豊富な豊かなものになり、最終的には、海も豊かになると思い描いた。

選定理由 : 大会テーマをよく理解し、水、空、緑をそれぞれ単純化し、独創的で丁寧に描いている。全体として、動的で人目を惹き美しい原画である。



7. 開催日

平成29年 月 日（ 曜日）

8. 主催

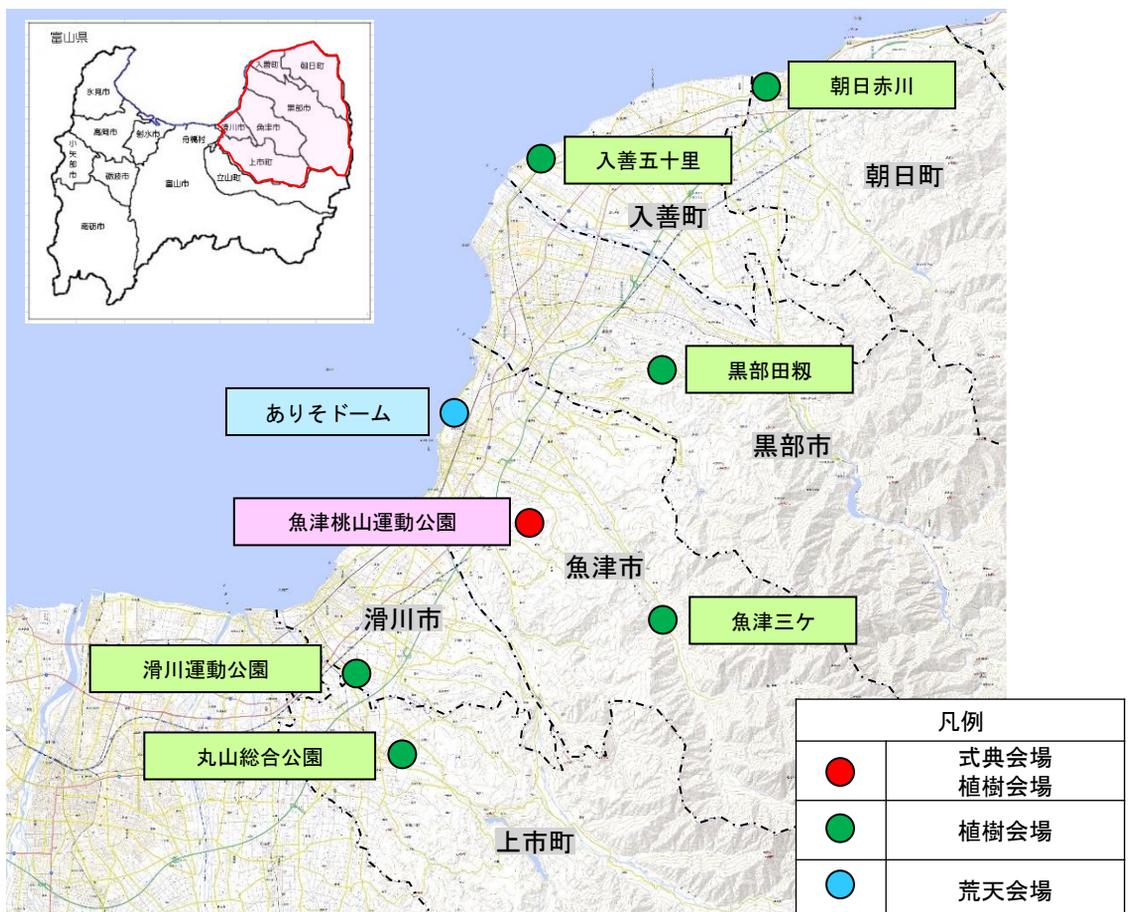
公益社団法人国土緑化推進機構
富山県

9. 開催規模

県内外からの招待者等を合わせて6,200人程度の規模で開催します。

区分	参加予定者数	内訳
県外招待者	1,200人	国関係者、被表彰者、他県招待者 等
県内招待者	3,000人	県議会、市町村関係者、森林・林業・緑化関係団体、公募招待者、県実行委員会 等
協力員/本部員	2,000人	出演者、協力員、実施本部員
合計	6,200人	

10. 開催会場



(1) 式典会場

式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き行事などを実施します。

○魚津桃山運動公園（富山県魚津市出字桃山）

魚津桃山運動公園は、魚津市中心部より南東約4km、標高160m～200mの里山地域に位置する総合運動公園です。公園内には、野球場、陸上競技場、テニスコート、多目的広場などが併設され、平成16年(2004年)に開催された女子野球世界大会の会場として広く知られています。

公園からは、日本海や北アルプスが眺望でき、県民の憩いの場となっています。



魚津桃山運動公園(空撮)



式典会場から望む日本海



式典会場から望む北アルプス

(2) 植樹会場

式典会場でもある魚津桃山運動公園に加えて、近隣の市町に植樹会場を設け、招待者の記念植樹を行います。

区分	会場名	備考
式典会場	①魚津桃山運動公園(魚津市)	市民の憩いの場となる里山林の造成予定地
植樹会場	②朝日赤川(朝日町)	富山湾に面した海岸沿いの海岸防災林造成予定地
	③入善五十里(入善町)	
	④黒部田粍(黒部市)	スギ人工林の再造林予定地
	⑤魚津三ヶ(魚津市)	
	⑥滑川運動公園(滑川市)	川辺に生育する樹木などの植栽予定地
	⑦丸山総合公園(上市町)	四季を彩る樹木などの植栽予定地

第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 参加者が開催理念を共有し、「また富山に来たい」と感じてもらう構成とします。
- ❖ 式典は簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- ❖ 子どもから高齢者まで、多くの県民が参加できるよう配慮します。

2. 式典行事の運営

- ❖ 式典行事の運営は、来場者の安全性、快適性に配慮し、花とみどりの少年団やボランティア団体等の協力を得ながら、おもてなしの心を持って行います。
- ❖ 司会者、アシスタント、式典音楽隊等の出演者については、地元をはじめ、県内の関係団体等の積極的な協力と参加を得て編成します。



木製地球儀の引継ぎ
(第67回全国植樹祭)



エノキの苗木の引継ぎ
(第67回全国植樹祭)

3. 式典進行プログラム

時間	プログラム	登壇者・出演者	音楽	映像
	招待者入場			
	着席案内			
	入場締切案内放送			
◇プロローグ ～世界に誇るとやまの自然と文化～				
45分程度	イントロダクション			
	オープニング映像			
	プロローグアトラクション			
	大会概要紹介			
	感謝状の贈呈	贈呈: 富山県知事 受贈: 各表彰者		
	東日本大震災復興支援	贈呈: 富山県知事、花とみどりの少年団 受贈: 被災地代表		
	記念切手贈呈	贈呈: 日本郵便(株)代表取締役社長 受贈: 富山県知事		
	式典案内			
◇式典				
50分程度	天皇皇后両陛下御着	御先導: 富山県知事 御出迎え: 大会会長、国土緑化推進機構理事長		
	開会のことば	国土緑化推進機構副理事長		
	三旗掲揚・国歌独唱	花とみどりの少年団など		
	主催者あいさつ	大会会長、富山県知事		
	表彰	贈呈: 大会会長、農林水産大臣、文部科学大臣、富山県知事 受贈: 各受賞者代表		
	苗木の贈呈	贈呈: 花とみどりの少年団 受贈: 農林水産大臣、環境大臣		
	お手植え・お手播き、代表者記念植樹	御先導: 国土緑化推進機構理事長、富山県知事 介添え: 花とみどりの少年団		
	大会テーマのアピール	テーマ: 森・川・海のハーモニー		
	大会宣言	国土緑化推進機構理事長		
	リレーセレモニー	富山県知事、福島県知事		
	閉会のことば	富山県議会議長		
天皇皇后両陛下御退席	御先導: 富山県知事			
◇エピローグ ～つながりあう森・川・海を未来へ～				
30分程度	エピローグアトラクション			
	終了			

4. 式典演出の概要

プロローグ ～世界に誇るとやまの自然と文化～

「高低差4000m」のダイナミックで変化に富んだ地形がもたらす豊かな自然や文化を映像や創作舞踊などで表現

【洋舞による創作舞踊】(約20分)

- 子供たちのダンスにより「森」「川」「海」を生き生きと表現
- ナビゲーターによる語り



導入部

- ・ナビゲーターが富山の自然の特長である高低差4000mのダイナミックな地形(立山の氷河、扇状地、海底林)などを語りで紹介する。

シーン1「輝く森」

【語りでの表現】

ナビゲーター: 豊富な雪解け水やきれいな空気が豊かな自然・森を育てている
(植生自然度本州No.1の多種多様な森など)

【ダンスでの表現】

立山の厳しい冬、穏やかな春の芽吹き、鳥などにより自然の豊かさを表現

シーン2「輝く川」

【語りでの表現】

ナビゲーター: 清らかで豊富な水量を誇る川は大地を潤し、人々の生活に様々な恵みを与えてくれる

【ダンスでの表現】

キラキラ光る急流河川、ピチピチした魚、豊かに実った稲穂などを表現

シーン3「輝く海」

【語りでの表現】

ナビゲーター: 冷たい雪解け水、暖流、海底湧水が富山湾を豊かにしてくれる

【ダンスでの表現】

様々な水の流れや種類豊富な魚などにより、豊かな命を育む海を表現

シーン4「輝くハーモニー」

【語りでの表現】

ナビゲーター: 森・川・海はつながりあって、豊かなふるさとを作っている

【ダンスでの表現】

シーン1～3の出演者が一緒になって、つながりあう豊かな富山の森、川、海を表現

式典（大会テーマのアピール） ～森・川・海のハーモニー～

「富山の神々しい山々」、「躍動感あふれる川」、「壮大な海」や
森・川・海のつながりを越中万葉などで表現

大会テーマのアピール

①越中万葉の朗唱(歌唱)(約3分)

ナビゲーターによる越中万葉の紹介に続き、オペラ歌手による越中万葉の朗唱(歌唱)

②中学生による森と海へのメッセージ(約5分)

「14歳の挑戦」において、「森」、「海」での就業を体験した中学生が、
ふるさと富山の森・海への保全等の思いを発表



花とみどりの少年団の出演

- ・東日本大震災被災者代表への知事からの目録贈呈の介添え
- ・三旗(国旗、大会旗、県旗)の掲揚
- ・農林水産大臣、環境大臣への苗木の贈呈
- ・天皇皇后両陛下のお手植え、お手播きの介添え
- ・代表者記念植樹の介添え
- ・木製地球儀の知事からの引継の介添え
- ・エノキの苗木の知事からの引継の介添え
- ・グランドフィナーレでの出演



エピローグ ～つながりあう森・川・海を未来へ～

招待者を歓送しメッセージを全国に発信

1. とやまの伝統芸能等を披露（約10分）

①伝統芸能等を映像で紹介
ユネスコ無形文化遺産登録候補など

②伝統舞踊(2テーマ程度)の実演



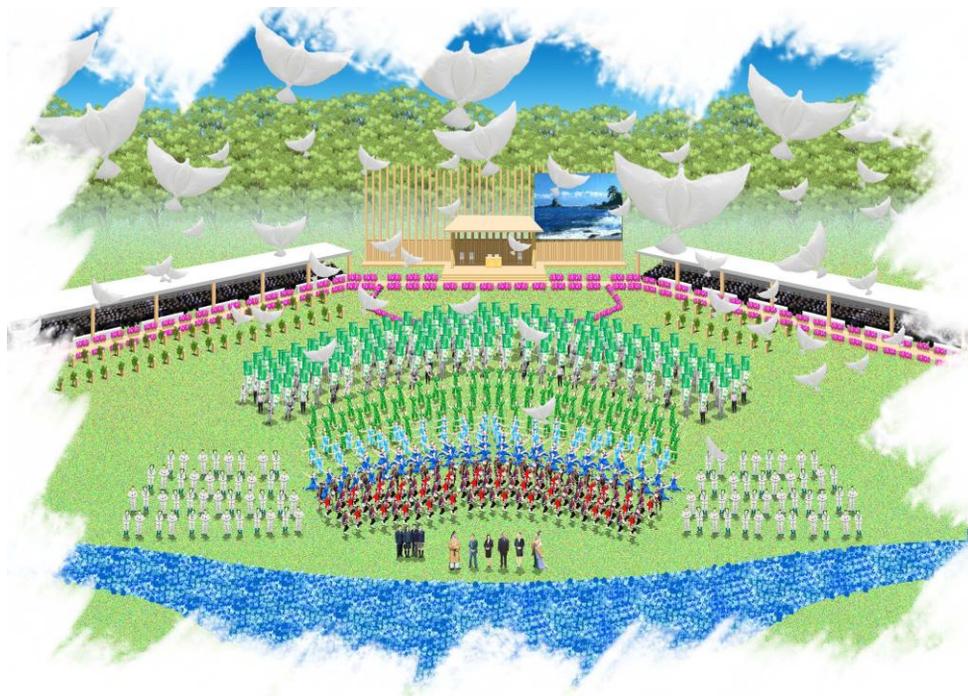
2. 森づくりボランティア等のメッセージ発表（約10分）

森づくり活動に取り組む団体等がのぼり旗を持って勢ぞろいし、活動内容や富山の森に対する思いを発信



3. グランドフィナーレ（約5分）

出演者全員が登場し、「ふるさとの空」の大合唱など



第3章 植樹行事計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 富山県の気候風土に適した広葉樹や優良無花粉スギ「立山 森の輝き」などを植栽し、県民参加による健全な森づくりと森林資源の循環利用の促進による林業再生を目指します。
- ❖ お手植え、お手播き樹種は、本県が「環境先端県」や「サクラの宝庫」であることをアピールでき、県民に親しみのあるものを選定します。
 - ①天皇陛下については、本県のシンボリックな樹種や森林資源の循環利用を象徴する樹種
 - ②皇后陛下については、雪国である本県の里山を花で彩る樹種
 - ③本県の歴史・文化や産業、森・川・海のつながりなど、富山県らしさを表現できる樹種
- ❖ 植樹用の苗木は、県内で採取した種子等から育成することを基本とします。また、苗木のホームステイなどにより、子どもたちが自らの手で育てた苗木も使用します。

会場	位置	内容		本数等
式典会場	お手植え所	お手植え	天皇皇后両陛下	6本
	お手播き所	お手播き		4種
	特別招待者席前	代表者記念植樹	招待者の代表	50本程度
植樹会場	魚津桃山運動公園	招待者記念植樹	県内外招待者 (代表者以外)	3,000本
	朝日赤川			1,000本
	入善五十里			1,000本
	黒部田糶			1,000本
	魚津三ヶ			3,000本
	滑川運動公園			500本
	丸山総合公園			500本

2. お手植え計画

- ❖ 天皇皇后両陛下のお手植えは、お手植え所で「森」の字をかたどり、それぞれ3本の植樹とします。
- ❖ お手植えされた記念樹は、魚津桃山運動公園内に移植後、「県民参加による森づくり活動」の象徴として、大切に管理・育成します。

《 お手植え樹種 》

天皇陛下	タテヤマスギ 優良無花粉スギ 「立山 森の輝き」	コシノヒガン 「エドヒガン」を親に持つ 本県発祥の長寿のサクラ	ヒメコマツ アルペンルートの代表種、 合掌造りの柱
皇后陛下	コシノフユザクラ 本県固有の二度咲きのサクラ	キタコブシ 雪国の春を象徴する花	ホオノキ 万葉集では富山でのみ詠歌

《 天皇陛下お手植え樹種（3種） 》

樹種	特徴・選定理由等
<p data-bbox="222 364 462 478">タテヤマスギ 優良無花粉スギ 「立山 森の輝き」</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・スギは、県内一円で植栽されているだけでなく、「埋没林」（魚津市・特別天然記念物）や「杉沢の沢スギ」（入善町・天然記念物）、散居村の屋敷林（砺波市等）、五箇山の合掌造り（南砺市）など、古くから富山県民の暮らしや本県特有の文化と密接な関係にあり、県民にとって最も身近な樹種です。 ・中でもタテヤマスギは、本県の象徴でもある立山連峰の山岳地帯（生育地点の標高2,070mは日本一高い）から海岸付近にまで生育し、本県の県木にも選ばれています。 ・本県では、20年の歳月を掛けて、花粉を全く飛ばさない優良無花粉スギ「立山森の輝き」を全国に先駆けて開発しました。現在、森林資源の循環利用に向けた再生林の切り札として全国へ発信しています。
<p data-bbox="247 944 436 975">コシノヒガン</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・本種は、その名が示すように本県発祥の桜の一つです。 ・エドヒガンとキンキマメザクラの交雑種と考えられ、昭和4年に発表されました。 ・高岡古城公園では古くから植栽されており、日本さくらの会の「さくら名所百選」にも選ばれています。 ・花は、ソメイヨシノよりやや早く咲き、花つきが良く、美しいことから、全国へ広まっています。 ・南砺市蠟山の自生地は県指定の天然記念物となっています。 ・長寿のエドヒガン（樹齢千～2千年程度）を親としていることから、長寿の桜の可能性ががあります。
<p data-bbox="265 1452 418 1483">ヒメコマツ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内に広く生育する高木性の常緑針葉樹です。 ・本県随一の観光地である立山黒部アルペンルートなどの山岳地帯の切り立った尾根などで多く見られ、また、庭木としても好まれよく植えられるなど、富山県民にとって身近な親しみのある木です。 ・雪国の風雪に耐える力強い樹形をしており、樹皮の亀甲模様は強健勇壮です。 ・材は、アカマツなどの二葉松に比べ木目が細かく、軽軟で、狂いが少ないため、建築材や家具等に活用され、五箇山の合掌造りでも使用されています。

《 皇后陛下お手植え樹種（3種） 》

樹種	特徴・選定理由等
<p>コシノフユザクラ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・本種は、その名が示すように本県発祥の桜の一つです。 ・マメザクラとヤマザクラの交雑種と考えられ、上市町と黒部市の民家でほぼ同時期に発見され、平成19年に発表されました。 ・魚津市を含む県内5市町の民家で植栽されており、大会開催地ゆかりの桜です。 ・晩秋と春の2回開花する二季咲き性で、花つきが良く、一重咲きの白い花と淡紅色の花が混ざって咲きます。 ・花が散りにくいため、押し花を使った「散らない桜カード」を作成したところ、受験生のお守りとして人気があります。 ・県中央植物園と県内の高校とが連携し、バイオテクノロジーを活用して、県固有の桜を増殖、保存して次世代に引き継ぐ取り組みを進めています。
<p>キタコブシ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内に広く生育する高木性の落葉広葉樹です。 ・雪国である本県に適したコブシの変種で、コブシより葉や花がやや大きく、早春、他の木々がまだ裸の頃、枝先に芳香のある白い花を無数につけ、富山県民に春の訪れを知らせてくれます。 ・花が美しく、樹形が整っているため、庭園や街路樹として使われています。 ・つぼみは、生薬で辛夷（しんい）と呼ばれ、鼻炎・頭痛などに効果があることから、古くから漢方薬として処方され、くすりの富山を印象づける樹種です。
<p>ホオノキ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内に広く生育する高木性の落葉広葉樹です。 ・大きな葉の中心に、香りの良い大きな白い花を咲かせ、本県の山の初夏を彩ります。 ・材は、軽軟で狂いが少ないため、家具材やピアノの鍵盤、まな板などに加工され、また、葉は、朴葉みそなど南砺市五箇山地区の伝統料理に使われ、身近な暮らしの中で親しまれています。 ・樹皮は、生薬で厚朴（こうぼく）と呼ばれ、健胃、整腸などに効果があることから、古くから漢方薬として処方され、くすりの富山を印象づける樹種です。 ・万葉集では、「ほほがしは」として、二首が越中だけで詠まれています。

3. お手播き計画

- ❖ 天皇皇后両陛下のお手播きは、お手播き箱へそれぞれ2種の播種とします。
- ❖ お手播きされた種子は、富山県が管理・育成し、県森林研究所に植樹するほか、県内市町村から希望を募り、「記念樹」として配付します。

《 お手播き樹種 》

天皇陛下	エドヒガン 日本を代表する長寿のサクラ 河岸に多く生育、森と川を結ぶ象徴	タブノキ 海岸に生育、森と海を結ぶ象徴 万葉集では富山でのみ詠歌
皇后陛下	ヤマザクラ 菊と並ぶ日本の国花 野生種のサクラの代表種	マルバマンサク 合掌造りの木組みの結束材に使用

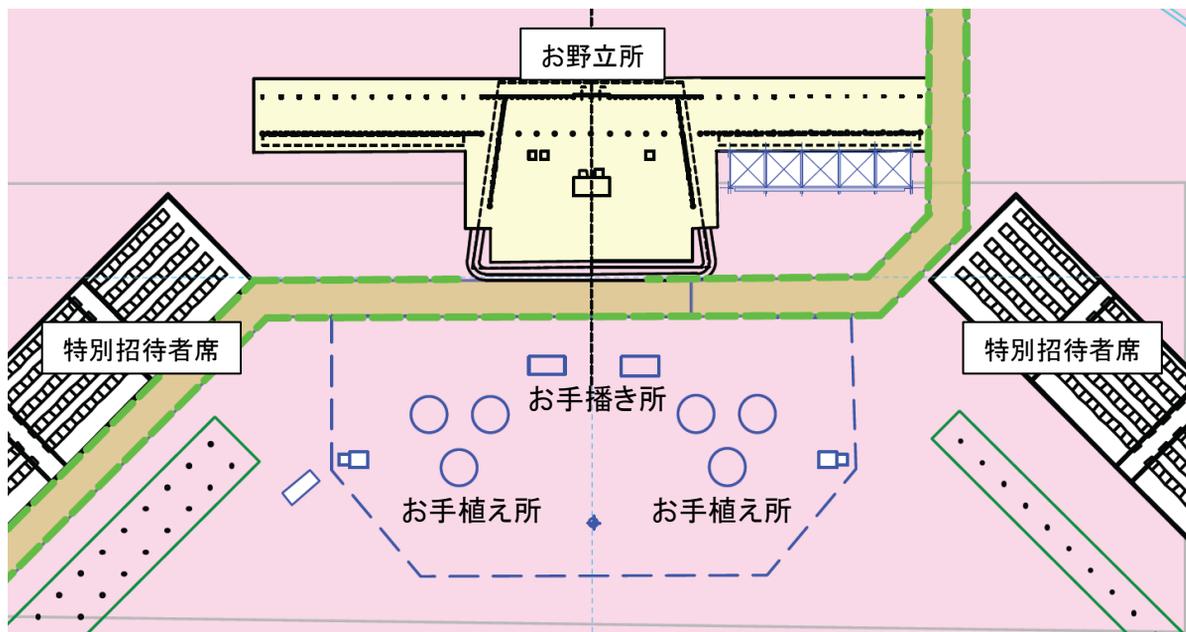
《 天皇陛下お手播き樹種（2種） 》

樹種	特徴・選定理由等
<p style="text-align: center;">エドヒガン</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・本種は、東北から九州にかけて広く分布していますが、河岸段丘を好み、大河川が多い本県には特に広く分布しています。また、河岸に多く生育することから、森と川を結ぶ象徴的な樹種と言えます。 ・樹齢2千年にもなるとされる長寿の桜であり、太平洋側では彼岸の頃に開花するため、この名がつけました。 ・黒部市の「明日の大桜」や氷見市の「駒つなぎ桜」は、本県の天然記念物に指定されています。また、黒部市鶏野神社の「月訪（つきとい）の桜」は、越中の国守であった大伴家持が、この地を訪れた際に植えられたものと伝えられています。 ・平成23年に本県（富山市・「富岩運河環水公園」）で開催された「全国みどりの愛護のつどい」では、皇太子殿下が植樹されました。
<p style="text-align: center;">タブノキ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の海岸沿いに多く生育する高木性の常緑広葉樹です。 ・本種が優占する朝日町の宮崎鹿島樹叢は国の天然記念物に、氷見市の「長坂の大いぬくす」や朝日社叢は県の天然記念物に指定され、朝日社叢は魚つき保安林にも指定されており、森と海のつながりを表す象徴的な樹種です。 ・枝を四方に大きく張り出し、壮麗で美しい樹形をしています。 ・材は、硬く軽いことから、主に家具材や内装材などのほか、船の材料としても使用されます。 ・万葉集では、大伴家持が「都万麻（つまま）」として1首のみ越中だけで、雨晴海岸に生える壮麗なタブノキの様子を詠っています。

《 皇后陛下お手播き樹種（2種） 》

樹種	特徴・選定理由等
<p>ヤマザクラ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県は、変化に富んだ豊かな自然環境を有しているため、日本で見られる主な野生の桜9種がほぼ全て確認されており、野生の桜の宝庫といえます。 ・本種は、県内の里山などに生育する野生の桜で、大会開催地である魚津市南部の松倉城跡には、ヤマザクラの美林があります。 ・4月上旬から中旬頃に開花し、白い花と同時に赤い若葉が出るため、そのコントラストが美しいです。 ・樹皮は、生薬で桜皮（おうひ）と呼ばれ、鎮咳に効果があることから、古くから和薬として処方され、くすりの富山を印象づける樹種です。 ・古くから桜の名所や歌に詠まれた桜は、そのほとんどがヤマザクラといわれています。
<p>マルバマンサク</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内に広く生育する小高木性の落葉広葉樹です。 ・日本海側の多雪地域の里山を代表する樹種で、早春に咲くことから、「まず咲く」が訛ってマンサクになったといわれており、雪国の春を最初に感じさせてくれます。また、黄金色の花を枝いっぱい咲かせた姿を豊年満作と縁起をかつぎ、マンサクになったという説もあります。 ・枝はしなやかなことから、世界遺産である五箇山合掌造りの骨組みを結束する「ねそ」やかんじきの輪等に活用されるなど、雪国である富山県の暮らしとともにあった木です。 ・葉に含まれるタンニンには、収斂（しゅうれん）作用があるため、痔・止血・湿疹に効果があり、くすりの富山を印象づける樹種です。

《 お手植え所・お手播き所配置図 》



4. 招待者記念植樹計画

- ❖ 招待者記念植樹は、県内外からの招待者による1人1本以上の記念植樹とします。
- ❖ 県外招待者は、式典行事開始前の午前中に植樹し、県内招待者は、午前・午後に分かれて植樹します。
- ❖ 富山県の気候風土や会場特性に適した樹木を植樹します。
- ❖ 「苗木のホームステイ[※]」等により、子どもたちや企業・団体等が育てた苗木も使用します。
- ❖ 植樹会場は、第68回全国植樹祭開催後、適正に維持・管理します。
- ❖ それぞれの植樹会場において、地元の方々と招待者との交流の機会をつくります。

※「苗木のホームステイ」

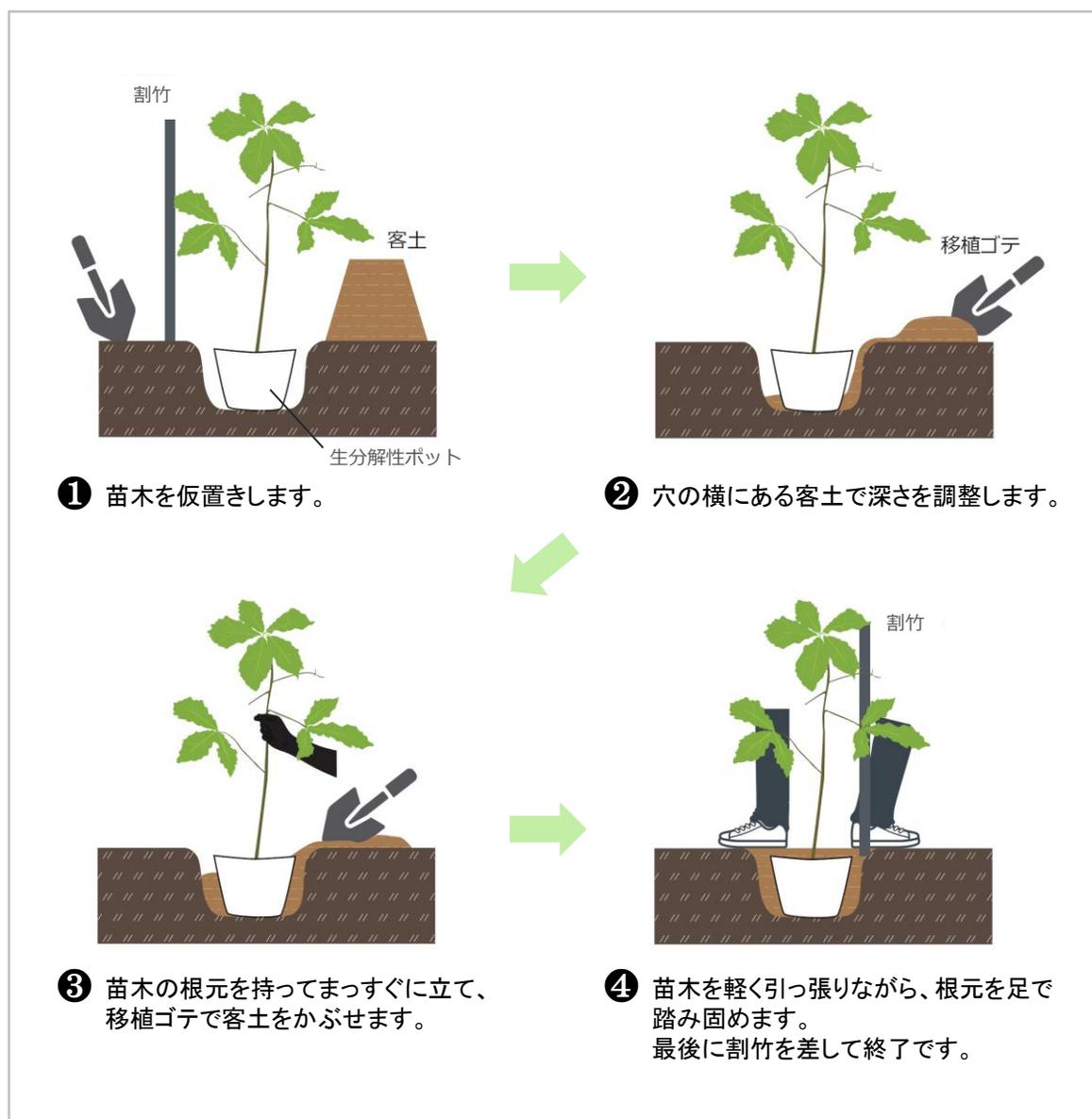
全国植樹祭で植樹する苗木の一部をとやまの森づくりサポートセンターの登録団体、登録企業、県内の小・中学生や「花とみどりの少年団」に育成してもらう取組み

区分	会場名	植栽本数	樹種
式典会場	①魚津桃山運動公園	3,000本	コナラ、ホオノキ、イタヤカエデ、オニグルミ、キタコブシ、クリ、トチノキ、ミズキ、アカシデ、ウラジロノキ、ウリハダカエデ、エゴノキ、ヤマボウシ、ムラサキシキブ、ヤブデマリ、ヤマブキ、オクチョウジザクラ、ケヤキ（18種類）
植樹会場	②朝日赤川	1,000本	クロマツ、タブノキ
	③入善五十里	1,000本	
	④黒部田粳	1,000本	優良無花粉スギ「立山 森の輝き」
	⑤魚津三ヶ	3,000本	
	⑥滑川運動公園	500本	
⑦丸山総合公園	500本	コシノフユザクラ、イタヤカエデ、エゴノキ、コナラ、クリ、ムラサキシキブ、ヤマブキ、シママチキクザクラ、ツルギオリトキクザクラ（9種類）	

5. 植樹要領

- ❖ 苗木のサイズに応じて、苗木の根元と地面の高さが同じになるように客土を入れ、幅・深さを調整します。
- ❖ 苗木はまっすぐになるよう手で支えながら、苗木の周りに移植ゴテで客土を入れます。
- ❖ 地面から少し盛り上がるまで土をかぶせたら、苗木を軽く引っ張りながら、根元の土を踏み固めます。
- ❖ 最後に苗木の横に割竹を差して終了となります。

《 植樹要領図 》



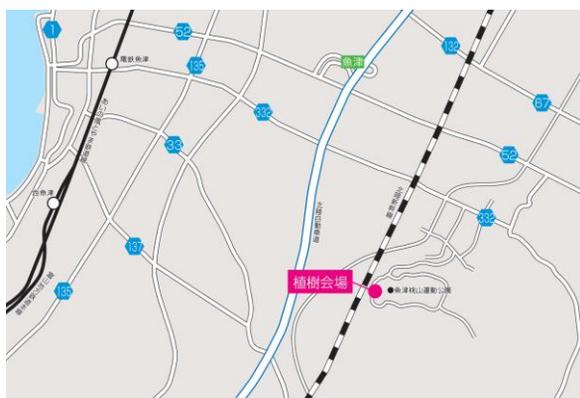
6. 植樹会場整備計画

● 魚津桃山運動公園

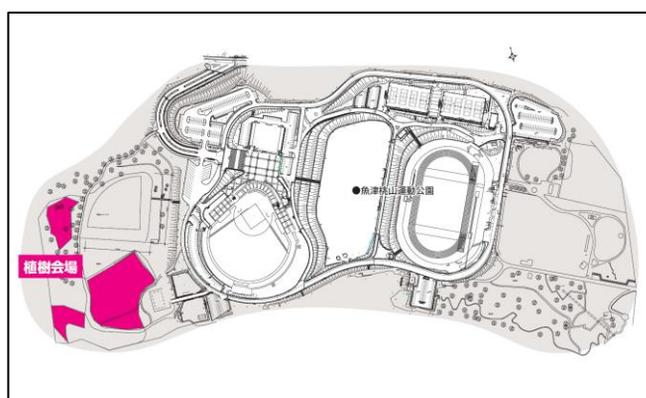
【現 状】 コナラやアカマツ等高木類が衰退し、クズや竹等が繁茂する里山林

【整備方針】 里山林の代表的な樹木や花木を植栽し、散策を楽しめる明るい里山林を造成

《 会場位置図 》



《 会場平面図 》



《 将来イメージ図 》



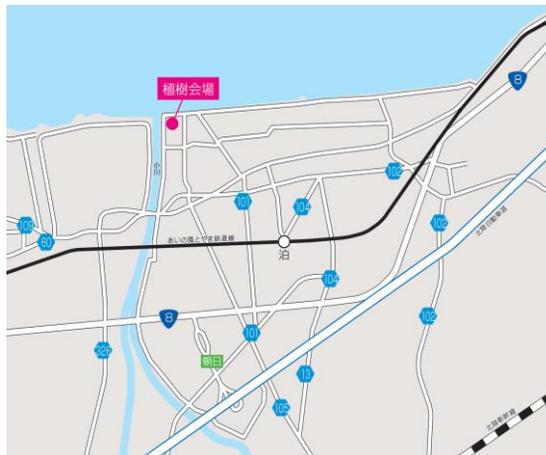
● 朝日赤川・入善五十里

【現 状】 海岸林未整備地

【整備方針】 潮風や飛砂から田畑を守る海岸防災林を造成し、森づくりと海づくりの連携を促進

《 会場位置図 》

・ 朝日赤川



・ 入善五十里



《 将来イメージ図 》



● 黒部田粍・魚津三ヶ

【現 状】 スギ人工林の伐採跡地

【整備方針】 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を植栽し、森林資源の循環利用を促進

《 会場位置図 》

・ 黒部田粍



・ 魚津三ヶ



《 将来イメージ図 》

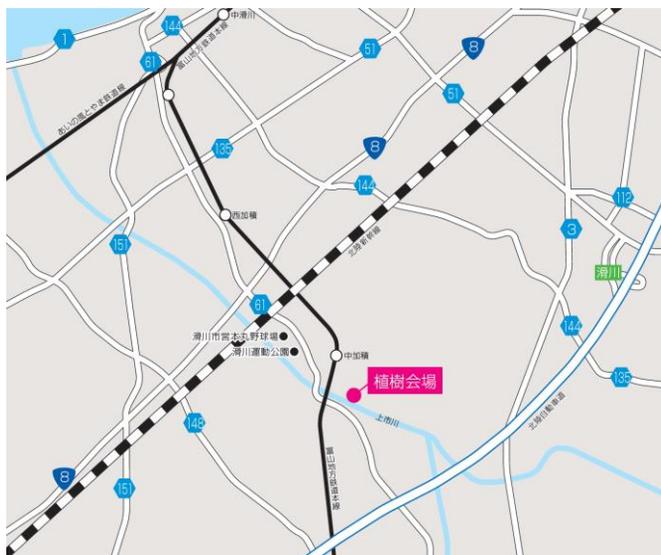


● 滑川運動公園

【現 状】 上市川沿いに位置する公園内の未整備地

【整備方針】 川沿いに多く生育する樹木を中心に植栽し、自然に親しめる森を造成

《 会場位置図 》



《 将来イメージ図 》

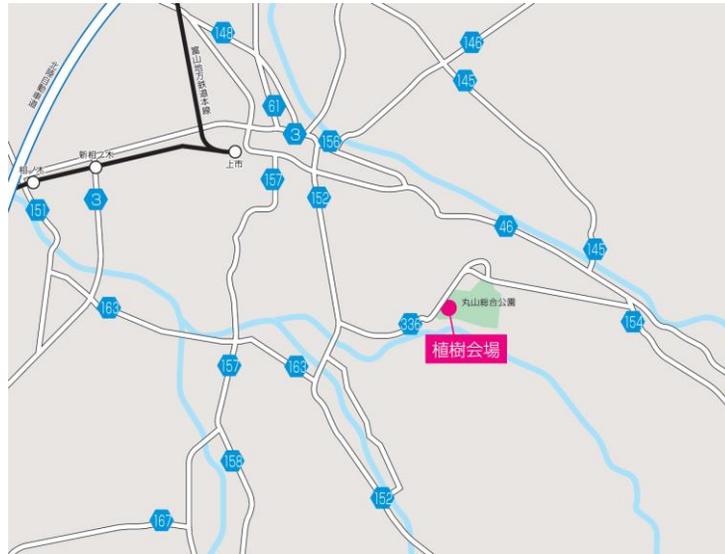


● 丸山総合公園

【現 状】 里山に位置する公園内の未整備地

【整備方針】 地元ゆかりのサクラや、里山を代表する樹木を植栽し、四季の変化を楽しむ森を造成

《 会場位置図 》



《 将来イメージ図 》



第4章 会場整備計画

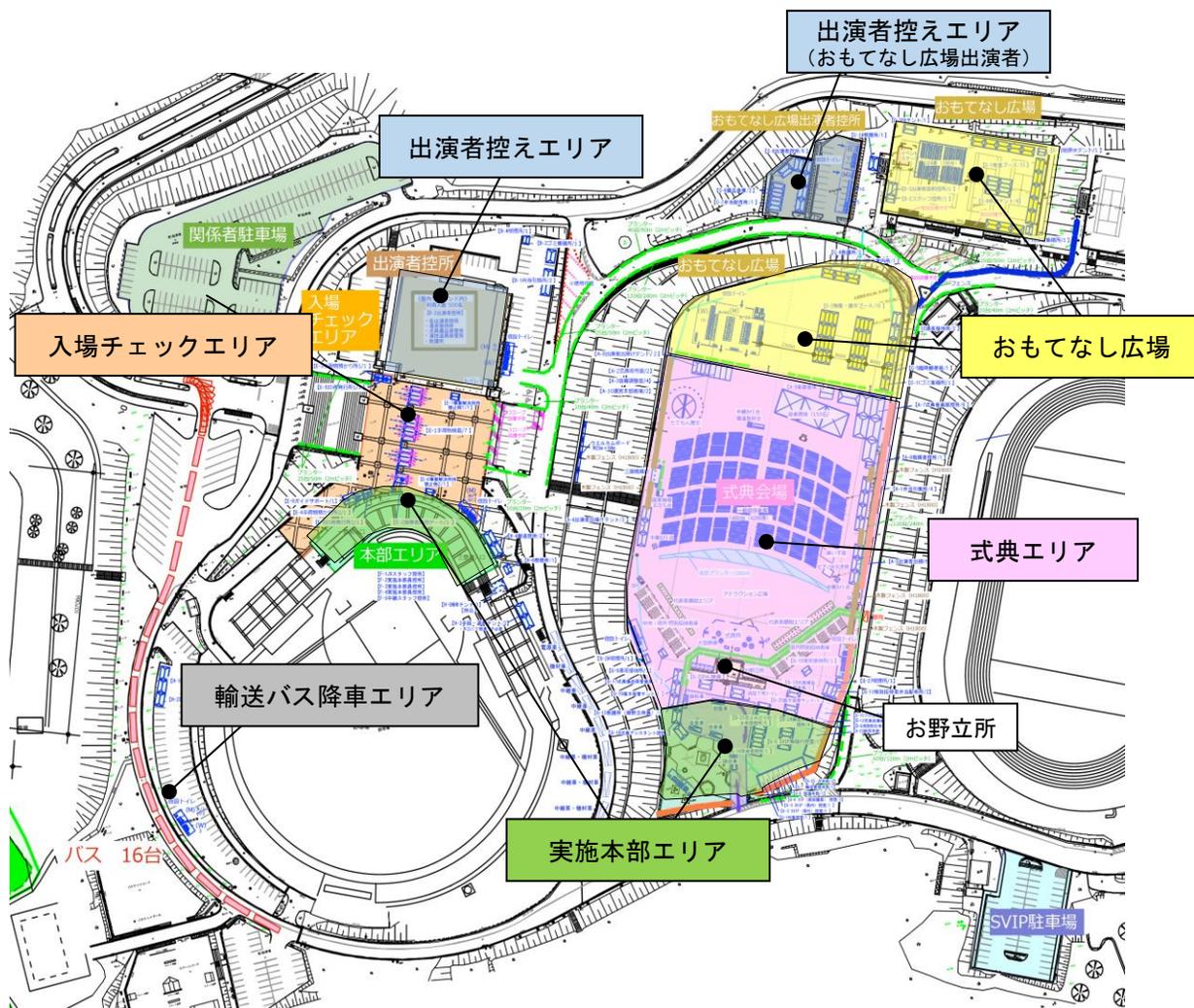
1. 基本的な考え方

- ❖ 会場等の整備にあたっては、土地形状の変更などにより自然環境に負荷を与えないよう、極力現地形を有効に利用し、経費の節減を図ることを基本とします。
- ❖ 周辺の景観との調和を図ることはもとより、安全性や機能性を考慮し、高齢者等に配慮します。
- ❖ 工作物等の整備にあたっては、原則として県産材を活用します。
- ❖ 会場全体を本県の森づくりの取り組みや、企業、森林ボランティア団体等の森づくり活動状況等の発信の場とし、参加者へアピールします。

2. 施設配置計画

(1) 会場周辺状況

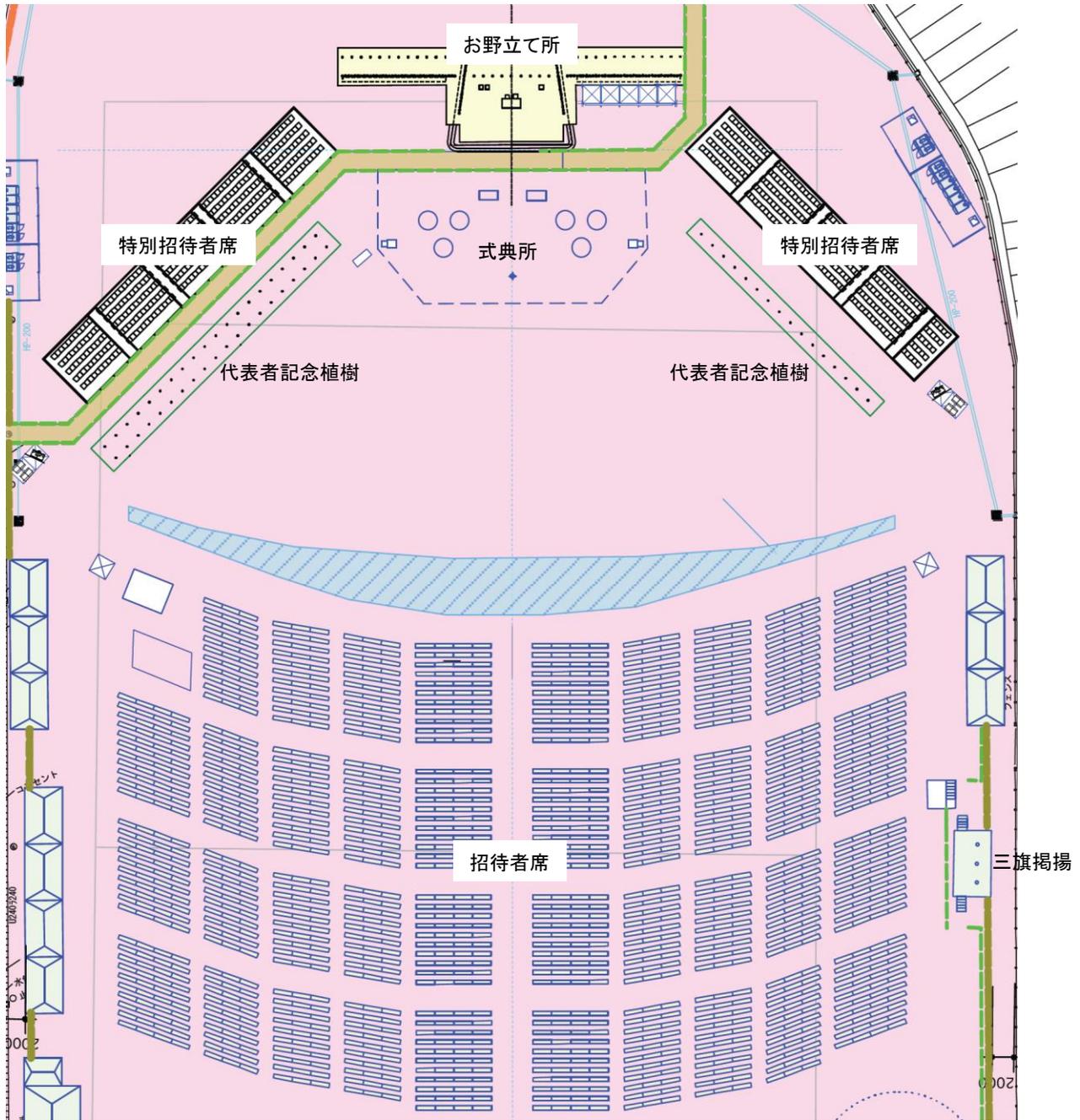
- ❖ 会場は、式典エリア、実施本部エリア、おもてなし広場、入場チェックエリア等にゾーン分けします。



(2) 式典会場イメージ図



(3) 式典会場配置図



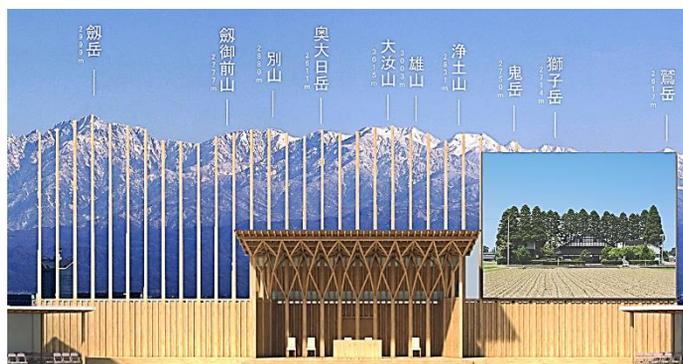
3. 主要施設計画

(1) お野立所

- ❖ お野立所は、富山湾と立山連峰の眺望が最も良い場所の近くに配置します。
- ❖ 丸太の柱と屋根を支える小径材により開放的な空間を作り出すとともに、県産材をふんだんに使用して県産材や木造建築の魅力を発信します。
- ❖ 県産材丸太を使用して、「立山連峰」や「散居村の屋敷林」、「本県の林業を象徴する「杉木立」、「こきりこのササラ」などを表現し、「富山らしい」デザインにするとともに、周辺の景観と調和のとれたものとします。
- ❖ 植樹祭終了後は移設、再利用します。



立ち並ぶ丸太で屋敷林やこきりこのササラをイメージ



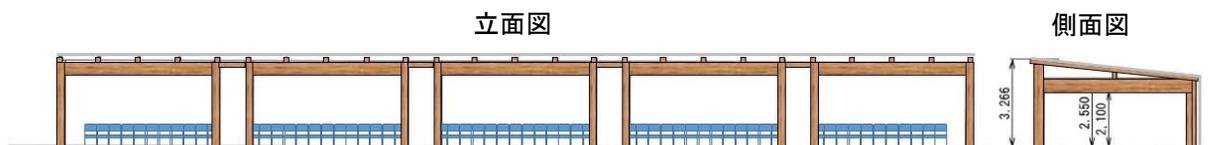
高さの違う丸太を用いて立山連峰の山並みを表現

(2) 木製仮設工作物等

- ❖ 会場内の仮設工作物については、原則、県産材を使用することとし、安全性、経済性及び、周辺の景観に配慮したものとします。

① 木製テント

- ・ お野立所両翼の特別招待者席は、県産材を使用した木製テントを設置します。



② ウェルカムボード

- ・ 式典会場入り口において、参加者を歓迎するためのウェルカムボードを製作・設置します。



式典会場入口に設置したイメージ

③ ベンチ、プランターカバー

- ・ ベンチ、プランターカバー等の木製品には、県産材を使用します。



使用予定のベンチ(左)、プランターカバー(右)

④ 御机等の製作

- ・ 式典に使用する御机やお手播き箱などを県産材を使用して製作します。



第66回全国植樹祭石川大会で御使用された御机(左)、お手播き箱(右)

4. 案内・誘導計画

- ❖ 招待者が安全かつスムーズに式典行事や植樹行事などに参加することができ、各施設への移動に支障がないよう、案内サインを各所に設置します。
- ❖ 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。また、招待者が一目で分かるようピクトサイン（絵文字）等を使用します。
- ❖ 案内サインの材料には、県産材のほか、リユース可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。

設置区域	サイン種別	内容
会場全体	施設表示	各エリア、施設等の名称を表示
	誘導	招待者を各エリア、施設等に誘導するサインを動線上に設置
	注意事項	遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項、持ち込み禁止物に関する注意事項等を表示
式典会場	座席表示	中央特別招待者は、各席に座席表を貼付 特別招待者入口に座席配置表を設置 一般招待者席は、バス号車単位で座席を表示
	会場案内図	会場内の全体図及び現在地の表示
植樹会場	植樹地誘導	バス号車ごとに決められたブロックへ誘導するサインを動線上に設置
	植樹位置	バス号車単位に決められた植樹ブロックを表示
輸送バス	バス号車	添乗員が招待者を誘導する際、バス号車を表示したプラカードを使用

5. 飾花計画

- ❖ 会場周辺の飾花は、県内産の花を使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう配置します。
- ❖ 会場に設置するプランターカバーは、県産材を使用して製作します。
- ❖ 県をはじめ、関係市町村、関係団体、県民が一体となり、花飾りや美化に努めます。

設置区域	内 容
式典会場	各エリアの動線や区分を行うとともに、会場の雰囲気を引き立てるよう、プランター等を設置します。
植樹会場	招待者の安全で円滑な誘導ができるよう、プランターを配置します。

6. 電気・給排水・通信設備計画

(1) 電気設備計画

- ❖ 会場内で使用する電源は商用電源を引き込むほか、仮設電源（ジェネレーター等）を設置し対応します。

(2) 給排水計画

- ❖ 水は施設内より給水し、排水は回収後、適正に処理をします。

分類	種類	内容
給水	飲料水	原則ミネラルウォーターを供給する。
	手洗い水	給水タンク一体型手洗いユニットで対応する。
	トイレ洗浄水	専用液で洗浄する。
排水	汚水・雑排水	タンク貯蔵し、専門業者により回収・処理を行う。

(3) 通信設備計画

- ❖ 運営を円滑に行うため、実施本部等に臨時電話を設置するほか、携帯電話、トランシーバー等の無線通信機器を適正に配置します。

(4) トイレ計画

- ❖ 植樹会場、おもてなし広場などに適正な数量を設置するとともに、衛生面にも十分配慮します。

第5章 運営計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 全国からの招待者を富山県らしいおもてなしの心でお迎えし、第68回全国植樹祭の開催意義や理念を全国に発信します。
- ❖ 県内市町村、森林・林業関係団体、NPO法人及びボランティア団体等の協力・連携を図ります。
- ❖ 参加者の安全・安心を確保し、快適に、清潔に過ごせるよう会場運営を行います。

2. 招待計画

(1) 招待者の区分及び規模

招待者区分		人数
県外招待者	・公益社団法人国土緑化推進機構理事長と富山県知事との協議により定める者 ・各都道府県知事が推薦する者	1,200人
県内招待者	・第68回全国植樹祭富山県実行委員会会長が推薦する者 ・富山県の市町村長が推薦する者 ・公募による一般県民	3,000人
計		4,200人

(2) 運営にあたっての参加者区分

参加者区分	人数	備考	
①中央特別招待者	30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、富山県知事、県議会議員、次期開催県知事 等	
②特別招待者	県外特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議員 等
	県内特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
	小計	420人	
③一般招待者	県外一般招待者	950人	各都道府県森林・林業関係者 等
	県内一般招待者	2,800人	県内の森林・林業関係者及び県内公募による一般県民 等
	小計	3,750人	
招待者小計 ①+②+③	4,200人		
④協力員/本部員	2,000人		
計 ①+②+③+④	6,200人		

3. 参加者の行動計画

(1) 前日

時間	全体進行 (人数)	中央 特別招待者 30人	特別招待者		一般招待者		出演者 協力員 実施本部長 2,000人
			県外 220人	県内 200人	県外 950人	県内 2,800人	
午前							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">指定集合地</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">バス降車場</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0ffe0; margin-bottom: 5px;">式典会場 リハーサル</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">昼食</div>
午後	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffe0e0; width: 100%;">レセプション</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffe0e0; width: 100%;">レセプション</div>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0ffe0; margin-bottom: 5px;">式典会場 リハーサル</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">バス降車場</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">指定集合地</div>

(2) 当日

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者		出演者 協力員 実施本部長	
			県外	県内	県外	県内		
(人数)		30人	220人	200人	950人	2,800人	2,000人	
7:00			指定宿泊地	指定集合地	指定宿泊地	指定集合地	指定集合地	
7:30			↓	↓	↓	↓	各配置場所	
8:00			記念植樹 (植樹会場)		記念植樹 (植樹会場)			
8:30			↓	↓	↓	↓		
9:00	おもてなし広場	指定宿泊地	入場チェック					
9:30		到着	↓					
10:00		着席	着席					
10:30	プロローグ	プロローグ						
11:00	式典行事	代表者植樹	式典					
11:30								
12:00	エピローグ	離席	エピローグ					
12:30	おもてなし広場	昼食	昼食					
13:00				会場散策				
13:30								
14:00								
14:30						記念植樹 (植樹会場)		
15:00		駅・空港	駅・空港 ※視察	指定解散地	駅・空港 ※視察	指定解散地	指定解散地	
15:30								
16:00								

※招待者の行動計画は変更となる場合があります。

4. 受付計画

(1) 前日受付

- ❖ 宿泊する招待者については、大会前日、指定宿泊施設にて1回目の受付を行います。
- ❖ 宿泊施設には招待者専用の受付を設置しスムーズなチェックインができるようにします。
- ❖ 宿泊施設での受付業務は、原則、実施本部員が行います。

(2) 当日受付

- ❖ 全国植樹祭当日の受付は、指定宿泊施設や指定集合地で、バス等に乗車する前に行います。
- ❖ IDカードの紛失や大会用品等が不足した場合に備え、式典会場入口付近にIDカード再発行所を兼ねた大会用品等のストックヤードを設け、そこで不足品の対応を行います。
- ❖ 円滑な受付や配付物の配付が行えるよう、関係者と連携を図ります。

招待者区分	受付日	受付区分	受付場所	受付業務の内容
中央特別招待者	前日 到着時	宿泊受付	指定宿泊施設	①ルームキーの引き渡し ②記念品・大会用品の配付 ③宿泊案内の配付 ④レセプション参加の案内
県外招待者 (中央特別招待者を除く)	前日 到着時	宿泊受付	指定宿泊施設	①本人確認 ②ルームキーの引き渡し ③記念品・大会用品の配付 ④宿泊案内の配付
	当日①	バス乗車 受付	指定宿泊施設	①IDカードの着用確認 ②本人確認
	当日②	入場チェック	式典会場	①手荷物・IDカードの確認 ②入場チェック
県内招待者	当日①	バス乗車 受付	指定集合地	①本人確認 ②記念品・大会用品の配付
	当日②	入場チェック	式典会場	①手荷物・IDカードの確認 ②入場チェック

5. 作品御覧・レセプション計画

(1) 作品御覧

- ❖ 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第68回全国植樹祭大会ポスター原画作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

〔主催〕 公益社団法人国土緑化推進機構、富山県
 〔開催日〕 平成29年春季
 〔会場〕 両陛下の宿泊施設内
 〔招待者〕 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者
 第68回全国植樹祭大会ポスター原画作者

(2) レセプション

- ❖ 天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第68回全国植樹祭招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

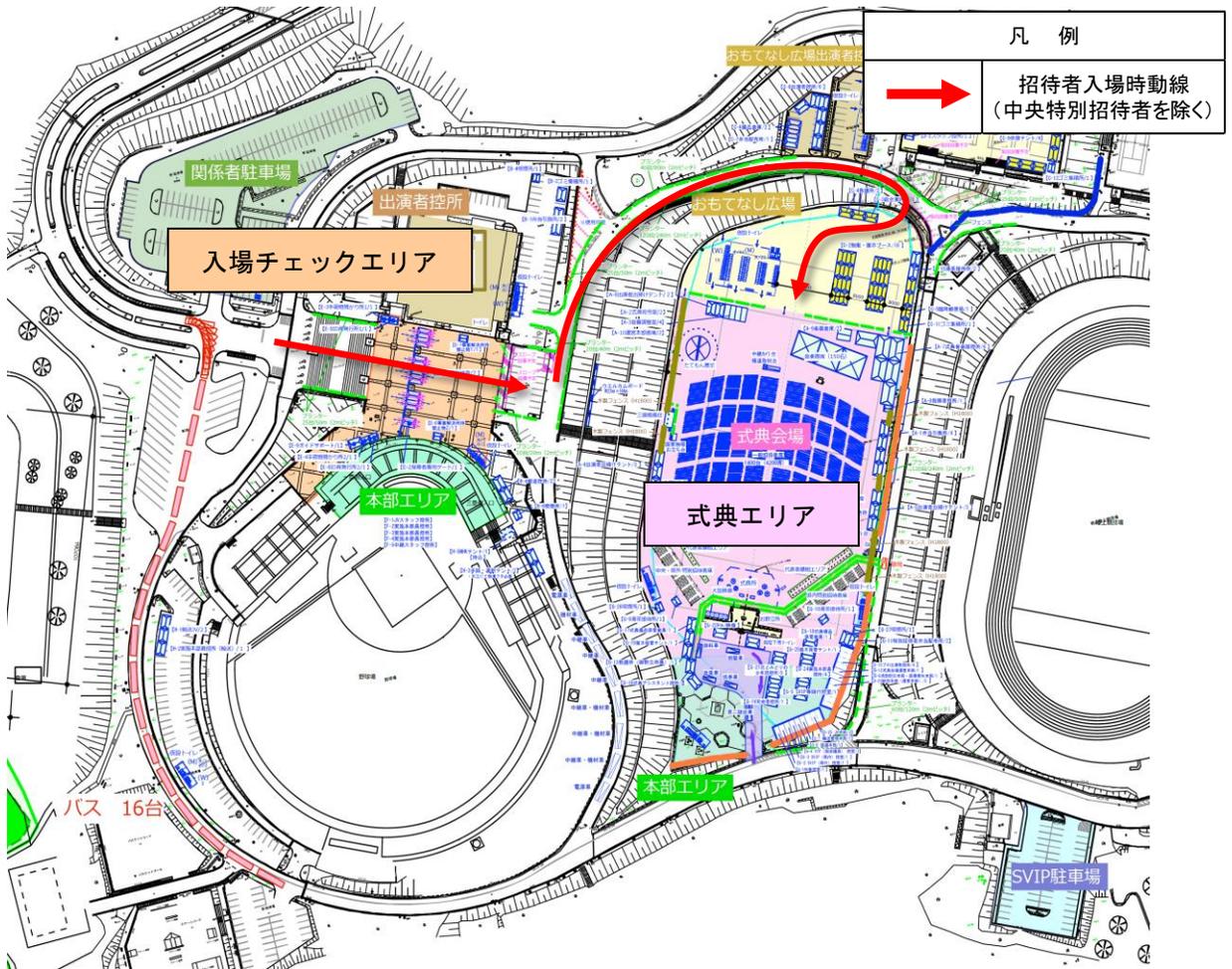
〔主催〕 富山県
 〔開催日時〕 平成29年春季
 〔会場〕 両陛下の宿泊施設内
 〔出席者〕 350名程度
 ・中央特別招待者
 （公益社団法人国土緑化推進機構会長、国務大臣、富山県知事、
 県議会議長 等）
 ・県外特別招待者
 （緑化功労者、代表表彰者、県選出国會議員 等）
 ・県内特別招待者
 （緑化功労者、県議會議員、市町村長、実行委員会委員 等）

〔レセプション日程〕

日 程
(1) 招待者受付
(2) 招待者レセプション会場入場
(3) 進行説明(司会者)
(4) 天皇皇后両陛下レセプション会場御着
(5) 御臨席
(6) 開宴
(7) 主催者あいさつ(富山県知事)
(8) 乾杯(大会会長)
(9) 御歓談
(10) 天皇皇后両陛下レセプション会場御発
(11) 歓談
(12) 閉宴
(13) 招待者退場

6. 会場内動線計画

(1) 入場時の動線



(2) 退場時の動線

- ❖ 入場時のコースを反対に戻る動線とします。

7. 会場おもてなし計画

- ❖ 式典会場と隣接しておもてなし広場を設置します。招待者が安全・安心・快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、救護所、仮設トイレ等を整備します。
- ❖ 富山県の森づくり活動の取組みや観光、特産品などを招待者に広くPRするため、各種展示コーナーや観光案内所、物産販売コーナー等を関係団体の協力により運営します。
- ❖ 県産材をふんだんに使った屋台や陳列台等を使用し、暖かみのある雰囲気に参加者の方々をお迎えします。

区分	種類	内容
おもてなし 広場	総合案内所	参加者に対する各種案内・情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理
	おもてなしステージ	歌や踊り、郷土芸能等の披露
	湯茶接待コーナー	参加者に湯茶、ミネラルウォーターを提供
	販売コーナー	富山県内の特産品や飲食物の販売
	展示コーナー	富山県内の森林・林業、観光等を紹介
	臨時郵便局	郵便、宅配サービス
	救護所	参加者の体調管理・救護
	休憩コーナー	休憩用のテントを設置
植樹会場	案内所・簡易救護所	参加者に対する各種案内・情報提供・応急処置



おもてなしステージ
(第68回全国植樹祭プレ大会)



休憩コーナー
(第68回全国植樹祭プレ大会)

《 おもてなし広場のイメージ 》



県産材のテーブル・椅子を活用した飲食コーナー（第68回全国植樹祭プレ大会）



木製屋台
（第68回全国植樹祭プレ大会）



陳列台
（第68回全国植樹祭プレ大会）

8. 実施本部計画

- ❖ 円滑な運営を図るための実行組織として、「第68回全国植樹祭富山県実施本部(仮称)」を設置します。
- ❖ 県職員、市町村職員、ボランティアなどの積極的な協力を得て効率的な要員配置を行うとともに、実施運営の円滑化及び参加者の安全性や快適性の確保に努めます。

《 実施本部体制 》

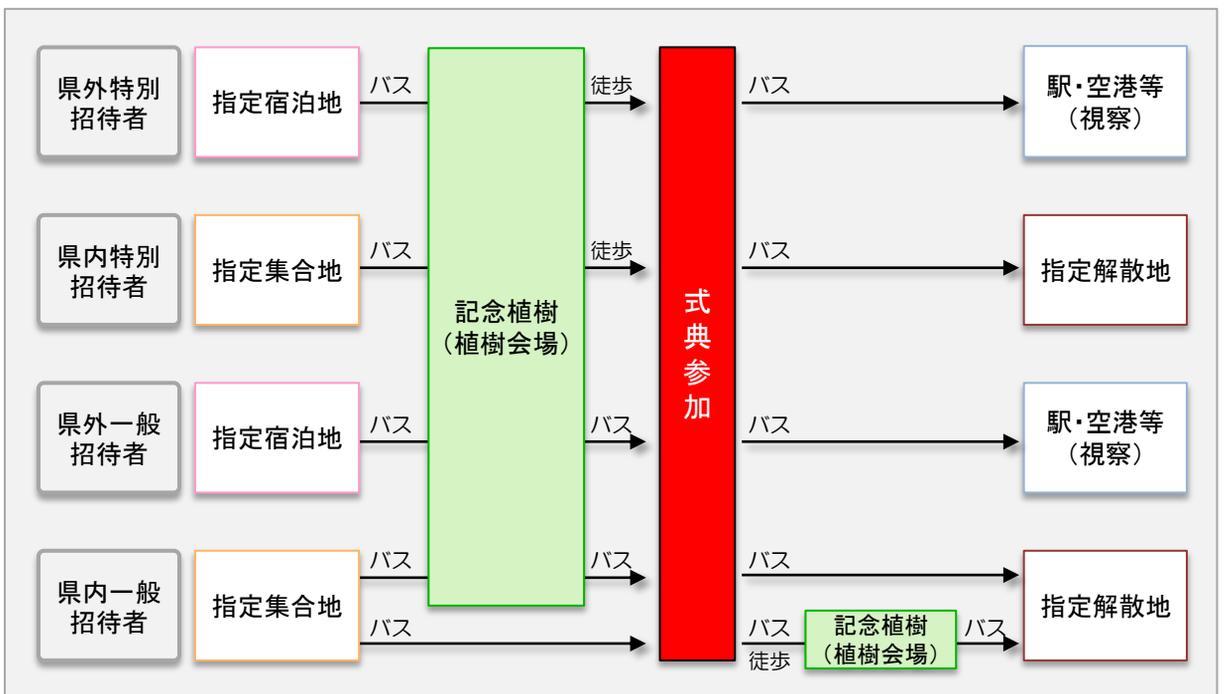


第6章 宿泊輸送計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 式典前日に、宿泊する招待者（主に県外招待者）は、式典会場や植樹会場の近隣地域などで、原則として、実行委員会が指定する施設に宿泊することとします。
- ❖ 式典当日は、前日宿泊した招待者は宿泊施設から、宿泊しない招待者等は最寄りの集合地から、原則として、実行委員会が準備したバスにより会場に移動することとします。
- ❖ 宿泊施設の収容人数、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制、大会前後の視察ルートを総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。
- ❖ 招待者等の安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び必要な交通規制などについて、関係者で綿密な打ち合わせを行うとともに、添乗員の配置・案内により快適な輸送体制を整えます。
- ❖ 会場周辺及びアクセス道路沿線では、地元市町村や関係者、地域住民の参加・協力を得て、美化に努め、招待者を歓迎します。
- ❖ 富山県の温かいおもてなしの心をもって、無理のない安全、安心な宿泊・輸送体制を整えます。
- ❖ 県外招待者の方が、富山県の森林・林業・木材産業に関する理解を深めていただくとともに、雄大な自然、多様な文化・歴史などの富山県の魅力を体感していただけるよう大会前後に視察コースを設定します。

《 植樹祭当日の招待者スケジュール 》



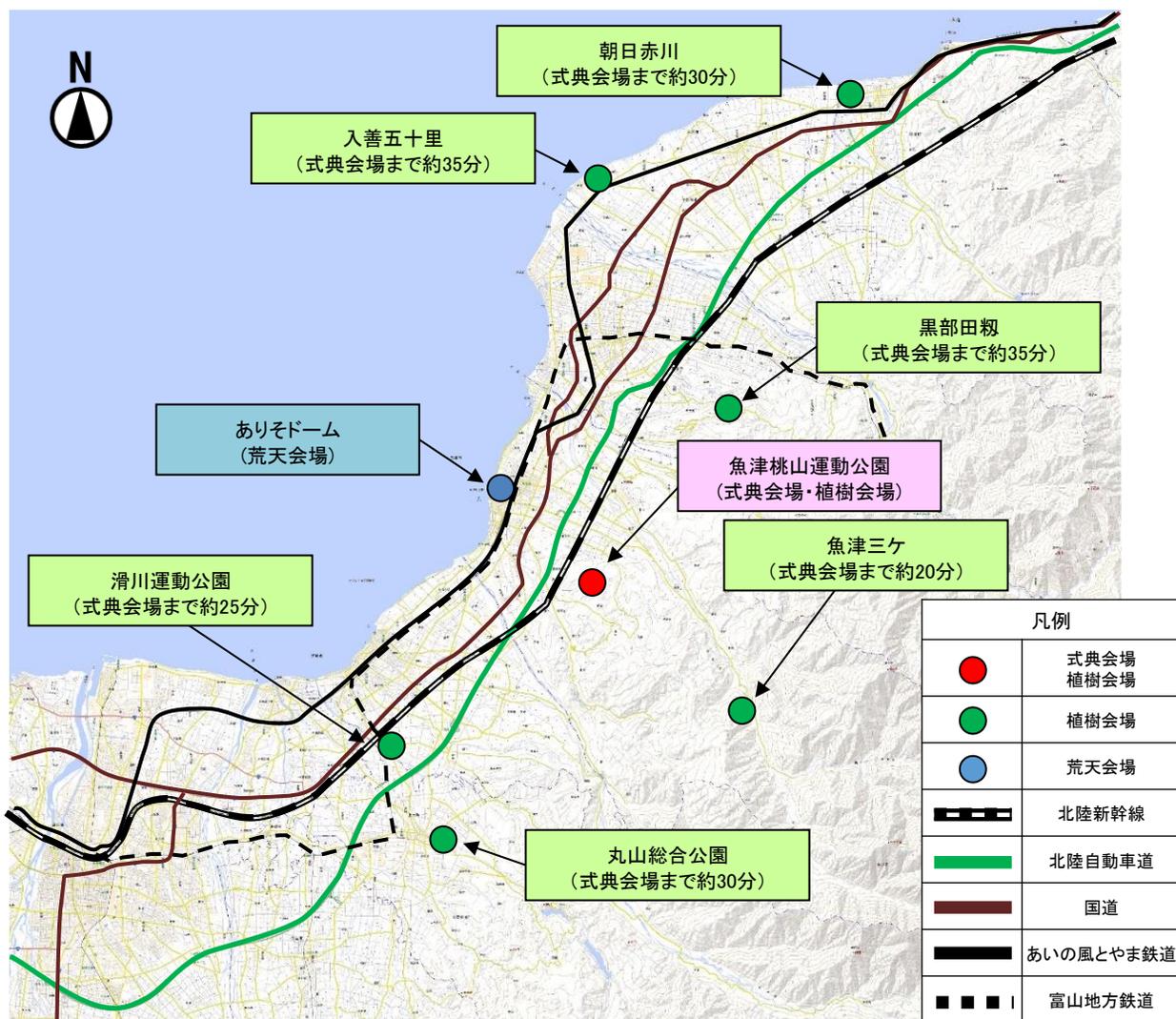
2. 宿泊計画

(1) 宿泊施設の選定

- ❖ 式典会場や植樹会場までの道路状況やアクセス及びスケジュール等を考慮した宿泊エリア・宿泊施設を選定します。
- ❖ 施設内または近隣で、安全にバスの乗降できる場所が確保された宿泊施設を選定します。
- ❖ フロントやロビー等宿泊施設内に専用デスクを設置し、大会用品（全国植樹祭プログラム、IDカード、帽子等）を円滑かつ確実に配付できる体制を整備します。
- ❖ 食事については、富山の食のPRに努め、富山の特産品を積極的に取り入れたメニューを提供します。
- ❖ 緊急時に搬送できる救急病院や緊急対応担当者の有無、AED（自動体外式除細動器）の設置状況を事前に把握し、万が一の事故に備えます。

(2) 宿泊候補地

- ❖ 宿泊招待者は、原則として、植樹会場近隣にご宿泊していただきます。

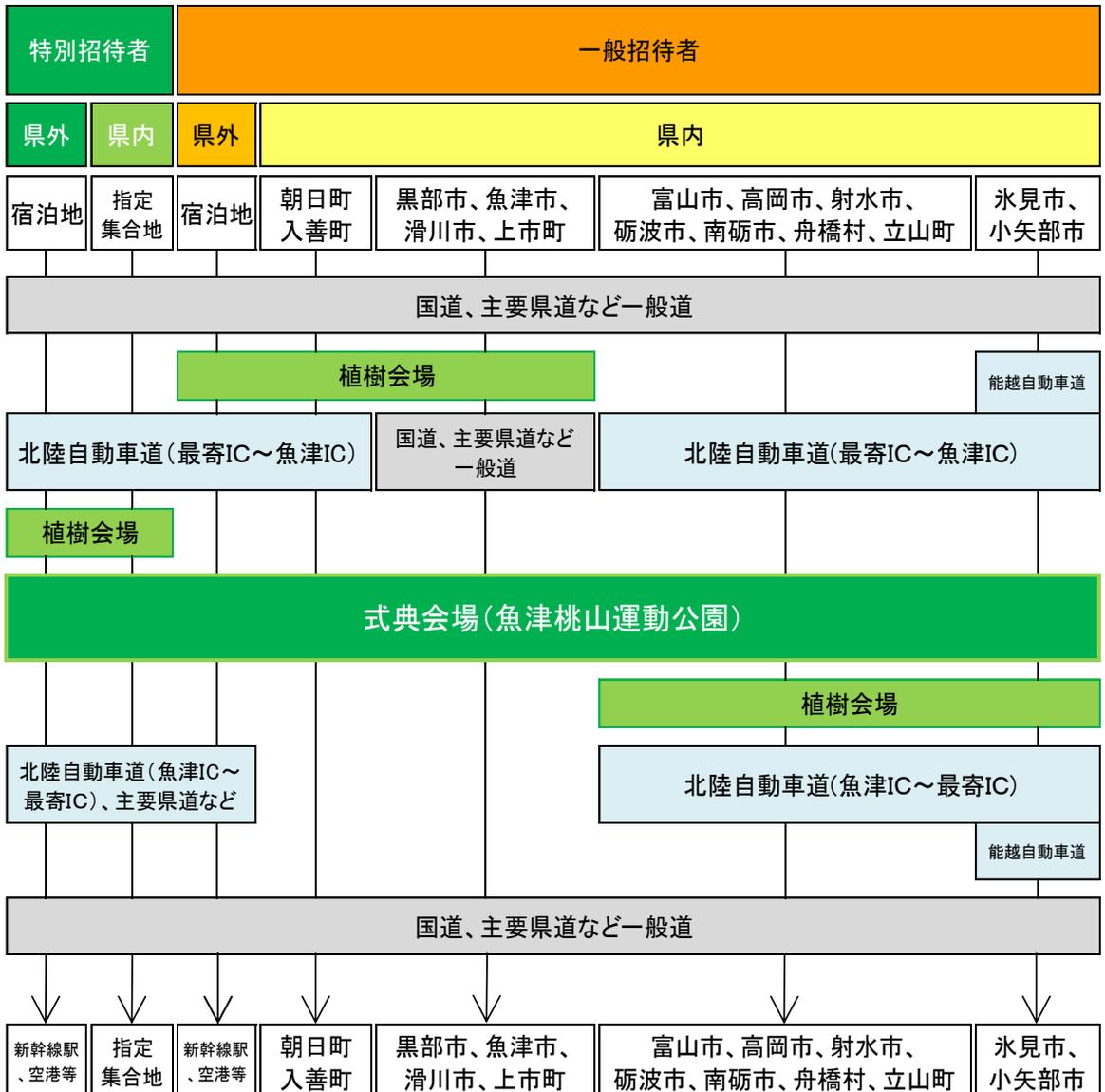


3. 輸送計画

(1) 輸送方針

- ❖ 参加者はバスで移動することを原則とし、参加者区分ごとに輸送計画を作成します。
- ❖ 参加者の安全で円滑な輸送を行うため、バス事業者、関係機関と協議・検討の上、運行ルートを設定します。
- ❖ 式典当日の道路混雑等のリスクを想定し、できるだけ移動時間がかからない最短ルートを設定します。
- ❖ 交通事故や渋滞等の不測の事態に備え、代替ルートや迂回ルートを設定を行います。

《 輸送フロー 》



(2) 関係車両一覧

参加者区分	輸送手段	台数	同乗者	備考
中央特別招待者	借上車等	30台	接伴員	出迎え、添乗・誘導、見送り
県外招待者	計画輸送バス	34台	添乗員	各種案内・誘導
県内招待者	計画輸送バス	86台	添乗員	各種案内・誘導
協力員・本部員等	計画輸送バス	42台	担当班員等	出展者など荷物の搬出入を伴う場合はトラックを手配
合計		借上車等 30台 計画輸送バス 162台		

(3) 駐車場計画

- ❖ 式典中の計画輸送バスの駐車場は、道路交通事情も考慮し、会場の隣接地または近傍地から選定し、確保します。
- ❖ 魚津桃山運動公園を除く各植樹会場における招待者記念植樹の間は、各植樹会場に併設された駐車場等を利用します。

《 バス駐車場候補地／式典中 》

駐車場名	場所(位置)	収容台数
新川文化ホール駐車場	魚津市宮津地内	120台
ありそドーム駐車場	魚津市北鬼江地内	42台



第7章 荒天時式典計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 暴風雨、集中豪雨等の荒天に見舞われ、式典会場での式典が困難であると判断した場合は、荒天会場で式典を実施します。
- ❖ 開催日の1週間前から随時情報収集に努め、式典会場での式典の実施の可否を判断します。
- ❖ 荒天会場での実施決定に備え、関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な実施運営を行います。

2. 開催会場

- ありそドーム（富山県魚津市北鬼江2898-3）



3. 参加者一覧

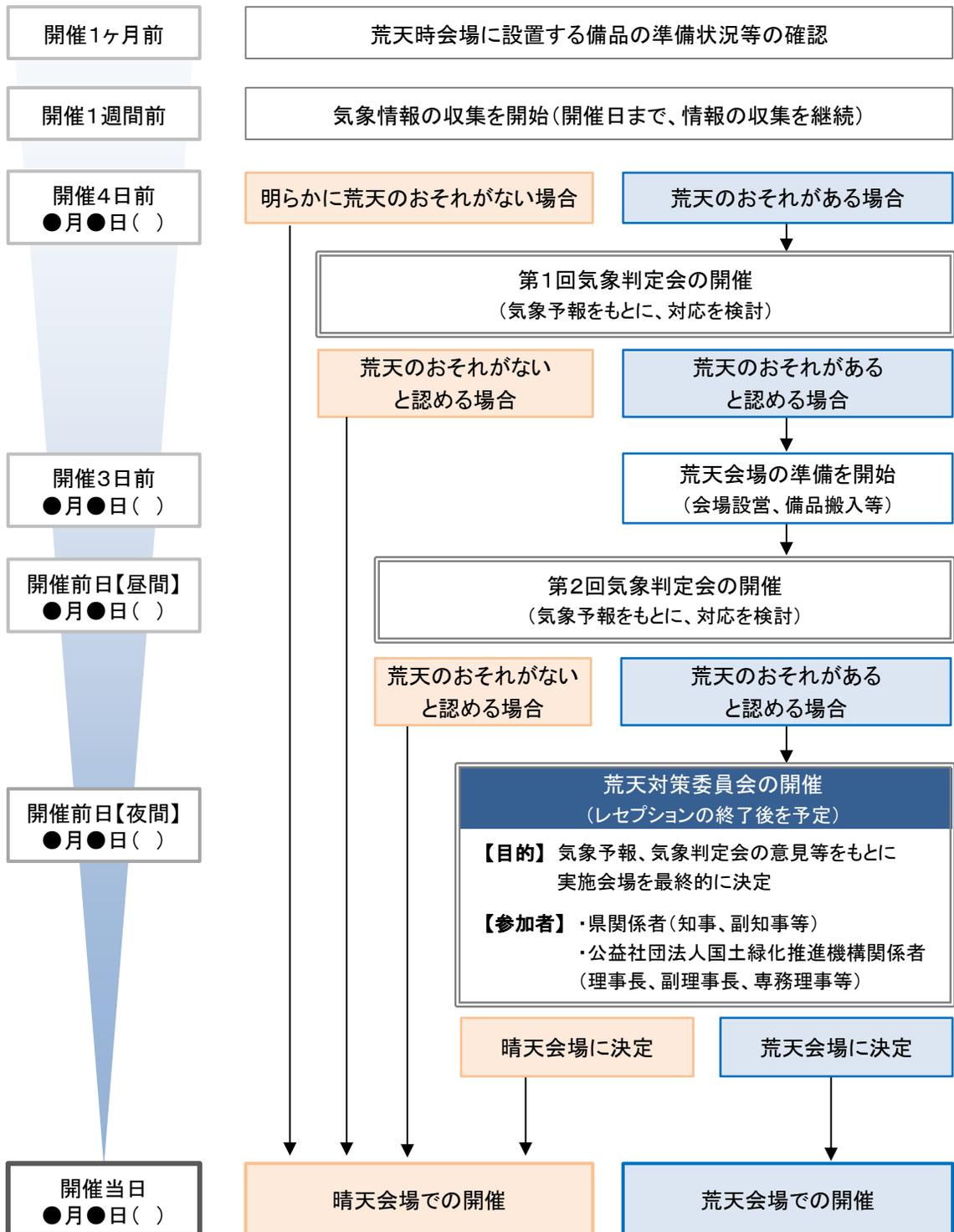
区分	人数	内訳
中央特別招待者	30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、富山県知事、県議会議長、次期開催県知事 等
県外招待者(特別・一般)	1,170人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議長 等
県内招待者(特別)	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
協力員/本部員	600人	
合計	2,000人	

4. 荒天時運営計画

(1) 式典行事計画

❖ 式典を中心とした構成とします。

(2) 荒天時への切替システム



※天候の急変等により、期日等を変更する場合があります。

第8章 記念事業等計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 第68回全国植樹祭の開催機運の醸成と、開催理念や大会の基本方針について、県民に広く普及啓発するため、記念事業等を実施します。

2. 記念事業の内容

- ❖ 記念事業は、全国植樹祭の開催理念を達成するため、第68回全国植樹祭富山県実行委員会等が主催する事業とします。

① 全国植樹祭プレ大会

全国植樹祭の開催1年前の時期に、従来から春に開催してきた「とやま森の祭典」をプレ大会として位置づけ、大会の周知と開催機運の醸成を図るため開催します。

【時期】平成28年5月22日（日）

【場所】魚津桃山運動公園

【内容】式典（表彰など）、記念植樹、森林整備、木工体験（プランターカバーの製作）、特産品の展示・販売、森づくり活動のPR



② 全国植樹祭カウントダウンイベント

開催日決定を受けて、全国植樹祭開催機運を盛り上げるため、開催日までのカウントダウンイベントを実施します。

写真
(開催後随時反映)

③ 苗木のホームステイ

第68回全国植樹祭で植樹する苗木の一部を県内の小中学校等で育てることにより、緑の大切さと森づくりへの関心を高めます。

【時期】平成26年秋季～

【規模】育成ポット 約6000個

【内容】花とみどりの少年団や、とやまの森づくりサポートセンター登録団体など県民参加により苗木を育成



④ 東日本大震災被災地へのエノキリレー

東日本大震災被災地復興支援のため、皇居内のエノキから採取した種から育てられた苗を平成28年6月5日開催の第67回全国植樹祭で長野県から引継ぎ、1年間、県内で育成してから次期開催県の福島県にリレーします。（リレーされたエノキの苗は、最終的に平成30年度の第69回全国植樹祭で植樹される予定）



⑤ 記録誌の発行、記録映像の作成

第68回全国植樹祭の式典行事、植樹行事をはじめ、各種記念事業などの取組みを、記録誌や記録映像等にまとめ、関係機関等に配付します。

写真

3. 関連事業の内容

- ❖ 関連事業は、関連団体が主催する事業のうち、全国植樹祭の開催理念と関連があり、実行委員会と互いに連携していく必要がある事業とします。

① 第46回全国林業後継者大会

全国の林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性を再認識し、森林を育て活用し、県民運動を推進することにより、林業技術と元気な森林・林業を未来に引き継ぐことを発信するための大会を開催します。

【時期】平成29年春季（第68回全国植樹祭開催日の前日）

【場所】未定

【内容】林業者の活動報告、パネルディスカッション 等

② 地域リレー植樹

全県的な開催機運の醸成と、県民参加による森づくり活動を進めるため、県内全15市町村が、それぞれ地域特性に応じた植樹イベントを実施します。

【時期】平成28年春季～

【場所】県内各地域

【内容】植樹、森林整備、木工教室 等



③ 県民参加の森づくり関連イベント

とよまの森づくりサポートセンターを通じて、企業・森林ボランティア団体等が参加する森づくりイベントなどを、第68回全国植樹祭の関連事業と位置付け、相互に連携して情報発信等を行います。

【時期】平成28年（年間）

【場所】県内各地域

【内容】植樹、森林整備、木工教室 等

「予定されているイベント」

森づくりボランティア交流会（4月23日）

森づくりボランティアの集い（9月）



④ 第51回全国木材産業振興大会

全国の木材業関係者が一堂に会し、木材産業振興への意識の高揚と、木材利用拡大を発信するための大会を開催します。

【時期】平成28年11月10日（木）

【場所】富山県民会館

【内容】式典（表彰など）、基調講演、パネルディスカッション 等

写真
（開催後随時反映）

第9章 広報計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 広報活動を通じて、大会の開催理念、基本方針、内容等について、PRするとともに、開催への機運を高めていきます。
- ❖ 広報媒体を活かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。
- ❖ 大会テーマ、シンボルマーク及び大会ポスター原画を活用し、第68回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。
- ❖ とやま水と緑の大使による、効果的な広報活動を実施します。

2. 広報計画

① インターネットの活用

第68回全国植樹祭の公式ホームページを開設し、各種イベントや県内の森づくり等に関する情報を積極的に発信するとともに、各種の問い合わせや申し込みなどについても、インターネットを効率的に活用します。

② 公共広報等の活用

県及び各市町村の広報や広報番組等の公共広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かい情報提供とPR活動を実施します。

③ マスメディアの活用

テレビ、ラジオ、新聞等、各報道機関との連携を深めるとともに、全国植樹祭、記念事業、県民運動等に関する情報を提供します。

④ 植樹祭情報誌の発行

「全国植樹祭だより」を発行し、開催準備状況や記念事業の実施状況等について情報発信します。

⑤ PRグッズの作成・配布

シンボルマーク等を用いた各種PRグッズを作成・配布し、開催の周知と機運の醸成を図ります。



第68回全国植樹祭 実施計画 中間とりまとめ（案）
平成28年7月

富山県農林水産部 森林政策課

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

電話番号：076-444-4077（直通） ファクシミリ番号：076-444-3390

ホームページ：http://www.68syokujusai-toyama.jp/

または、「第68回全国植樹祭」で検索してください。

第68回全国植樹祭富山大会開催に向けた機運醸成等について

1 第68回全国植樹祭プレ大会（第17回とやま森の祭典）

第68回全国植樹祭を多くの県民に知っていただき、大会への機運を盛り上げるため、従来から春に開催してきた「とやま森の祭典」を1年前イベントとして位置づけ、本大会の会場である魚津桃山運動公園においてプレ大会を開催しました。

- (1) 開催日 平成28年5月22日（日）
 (2) 開催場所 魚津桃山運動公園
 (3) 参加人数 約3,000名
 （林業関係者、花とみどりの少年団、
 漁業関係者、一般県民等）
 (4) 内 容

キャラバン隊による
植樹祭PR

植樹活動

①式典

- ・森づくり活動等に功績のあった方の表彰
- ・未来の森づくりに向けたメッセージの発表（小学生、林業担い手など）
- ・PRキャラバン隊による全国植樹祭のPR

②植樹・森林整備

- ・優良無花粉スギ「立山 森の輝き」とコナラの苗木約1,000本の植樹
- ・本大会の植樹会場予定地や周辺森林の整備

③その他

- ・本大会で使用する県産材プランターカバーの製作
- ・本大会の会場に飾るのぼり旗へのメッセージ寄せ書き
- ・展示・販売・飲食ブースの設置（県産材を使用した屋台、陳列台等）



苗木の配布



県産材を使用した屋台

2 県民参加の森づくり関連イベント

○とやまの森づくりボランティア交流会

とやまの森づくりサポートセンターが毎年春に開催している「とやまの森づくりボランティア交流会」を第68回全国植樹祭関連事業「地域リレー植樹」のキックオフイベントと位置づけ、開催しました。

- (1) 開催日 平成28年4月23日（土）
 (2) 開催場所 富山市東黒牧地内（富山国際大学敷地内）
 （第35回全国豊かな海づくり大会において、天皇陛下から
 お手渡しされたクロダイ（岩瀬浜）及びサクラマス（神通川）の放流場所上流域の森林）
 (3) 参加人数 約150名（サポートセンター登録団体、漁業関係者等）
 (4) 内 容

キックオフの号砲として
苗木を贈呈

- ①キックオフの号砲として、石井知事から中島富山国際大学学長に苗木を贈呈
- ②PRキャラバン隊による全国植樹祭のPR
- ③コナラ及びクリの苗木約500本の植樹
- ④植樹場所の除伐や下刈り
- ⑤本大会の会場に飾るのぼり旗へのメッセージ寄せ書き



イベントに参加いただいた皆さん

3 「地域リレー植樹」イベント

第68回全国植樹祭の開催に向けた全県的な機運の醸成と、県民参加による森づくり活動を進めるため、県内全市町村においてリレー形式で植樹イベント等を実施しています。

開催状況	開催日	市町村	開催場所	内容
開催済	5月8日(日)	氷見市	氷見市海浜植物園	クロマツの苗木約40本の植樹、全国植樹祭プランターカバーの製作
開催済	5月14日(土)	射水市	串田地内	コナラの苗木約30本の植樹
開催済	5月29日(日)	舟橋村	舟橋駅前公園	ヤマブキ及びムラサキシキブの苗木約40本の植樹
開催済	6月10日(金)	入善町	杉沢の沢スギ	スギの苗木約20本の植樹、林内におけるスギの落葉の清掃
開催予定	7月29日(金)	黒部市	十二貫野湖近辺	市内企業による下草刈りなど
開催予定	8月28日(日)	朝日町	山崎地内	地域住民による枝払い及び下草刈りなど
開催予定	10月上旬	滑川市	笠木地内	地域住民や高校生、花とみどりの少年団によるクロマツの植樹、海岸林整備など
開催予定	10月中旬	南砺市	利賀地内	地域住民による植樹、林内整理など
開催予定	10月中旬	上市町	丸山総合公園	地域住民によるコナラの記念植樹、広葉樹の除伐など
開催予定	10月	立山町	未定	自伐型林業伐採跡地におけるコナラ及びミズナラの植樹など
開催予定	11月6日(日)	富山市	呉羽丘陵	コナラ及びオニグルミの植樹など
開催予定	11月6日(日)	高岡市	とやま・ふくおか家族旅行村	市内企業の活動と連携した植樹、木工体験など
開催予定	11月上旬	小矢部市	小矢部運動公園	市内企業と地域住民による植樹など
開催予定	11月20日(日)	砺波市	頼成の森	森林ボランティア団体及び市民によるマスマスギやコナラの記念植樹など

※全イベントにおいてPRキャラバン隊による全国植樹祭のPR及び本大会の会場に飾るのぼり旗へのメッセージの寄せ書きを実施。



植樹活動(射水市)



森林整備活動(入善町)



のぼり旗寄せ書き(舟橋村)



プランターカバー製作(氷見市)

4 お手播き用種子の採取イベントの開催

第 68 回全国植樹祭のお手播き樹種に選定している樹木の種子を県民の方々に採取していただき、大会開催に向けて機運の醸成を図るため、以下のとおり種子採取イベントを開催しています。

(1) エドヒガン (天皇陛下お手播き樹種)

開催場所：富山市呉羽山公園都市緑化植物園（富山市北代）

〔個々に花の色が異なる多様なエドヒガンが群生する自生地を、自然のまま残して整備した全国的にも希少な植物園。〕

開催時期：5月25日（水）

参加者：北代地区住民

どんぐり山共同保育園園児 等 60名参加

(2) ヤマザクラ (皇后陛下お手播き樹種)

開催場所：松倉城跡 及び 松倉小学校（魚津市鹿熊）

〔松倉城跡は、県内で唯一ヤマザクラがまとまって見られる名所で、遠方の眺めも良く、落ち着いたあるサクラを楽しめる。〕

開催時期：6月9日（木）

参加者：魚津花とみどりの少年団（松倉小学校4，5年生）

松倉地区等近隣住民 等 60名参加

(3) タブノキ (天皇陛下お手播き樹種)

開催場所：長坂の大いぬくす（氷見市長坂内）

〔「長坂の大いぬくす」は、県指定の天然記念物で、推定樹齢約500年、樹高約12m、幹回り約7mの巨木で、荘厳な雰囲気漂わす。〕

開催時期：8月23日（火）開催予定

参加者：氷見市立灘浦小学校児童（5，6年生）

長坂地区住民等 約50名参加予定

エドヒガン種子採取の様子



水と緑の大使による植樹祭PR



前日の強風で大量に落下したエドヒガンの種子を手に笑顔を見せる園児たち



県産材プランターカバー製作にも挑戦

ヤマザクラ種子採取の様子



中央植物園研究員によるヤマザクラの解説



小雨の降る中、松倉城跡でヤマザクラの種子を拾い集める参加者



来年度まで保存するため、種子の周りの果肉を取り除く処理を体験

5 第67回全国植樹祭長野大会（6月5日、長野市「エムウェーブ」）

記念式典において、次期開催県を代表して、石井知事が全国植樹祭のシンボル「木製地球儀」と「エノキの苗木」を阿部守一長野県知事から引き継ぐとともに、富山の魅力や富山大会をアピールする挨拶を行いました。

また、おもてなし広場では、富山県ブースにおいて、PRキャラバン隊（「きときと君」と「とやま水と緑の大使」）が富山大会をPRしました。

○長野大会の概要

- (1) 開催期日 平成28年6月5日（日）
- (2) 開催場所 長野市オリンピック記念アリーナ「エムウェーブ」
- (3) 開催規模 約5,000人（富山県から約130人参加）
- (4) 主な内容
 - ①記念植樹 長野市茶臼山自然植物園ほか3箇所植樹
 - ②記念式典
 - ・天皇皇后両陛下によるお手植えお手播き
 - ・代表者植樹（石井知事、大野県議会議長が植樹）
 - ・表彰（緑化功労者等）
 - ・リレーセレモニー（木製地球儀の引継ぎ、エノキのリレー、次期開催県挨拶）
 - ・アトラクション
木と森の文化に関わりのある祭り等の披露などを通じて、長野県の「木と森の文化」や「歴史」、長野県の森づくりの取組やビジョン等を発信

※長野県から富山県へ「エノキのリレー」

東日本大震災復興支援として、長野県と富山県が連携して皇居から採種したエノキを育成し、第69回大会が開催される福島県へとリレーし、福島県の海岸防災林に植樹するもの。

48本を引継ぎ、森林研究所と中央植物園で育成中。



石井知事、大野議長らによる代表者植樹



阿部長野県知事から木製地球儀を引継ぎ



福島県（第69回大会開催）へリレーするエノキの苗木の引継ぎ



次期開催県を代表して石井知事が挨拶



おもてなし広場で富山大会をPR



記念植樹を行う富山県からの参加者（長野市・茶臼山自然植物園）

6 全国植樹祭のシンボル「木製地球儀」の県内全市町村巡回展示について

(1) 趣 旨

6月5日の長野大会において、阿部長野県知事から本県の石井知事に引き継がれた「木製地球儀」を県内全市町村の庁舎等で巡回展示し、全県的な開催機運の醸成を図る。

(2) 展示内容

- 木製地球儀 60×50cm
- 展示土台 80×80×50cm
- 全国植樹祭解説ポスター
- のぼり旗セット 2組



富山県民会館での展示状況

(3) 巡回展示のスケジュール

順番	自治体	展 示 期 間	展 示 場 所
1	県	6月27日(月)～7月10日(日)	県民会館ロビー
2	砺波市	7月11日(月)～7月21日(木)	市役所本庁舎1階玄関ロビー
3	南砺市	7月26日(火)～8月4日(木)	市役所福野庁舎1階ロビー
4	小矢部市	8月23日(火)～9月1日(木)	市役所1階ロビー正面
5	氷見市	9月6日(火)～9月15日(木)	市役所B棟1階ロビー
6	高岡市	9月20日(火)～9月29日(木)	高岡庁舎1階ロビー入口付近
7	富山市	10月18日(火)～10月27日(木)	市役所1階正面玄関
8	舟橋村	11月1日(火)～11月10日(木)	舟橋村立図書館正面入口
9	立山町	11月15日(火)～11月24日(木)	役場1階ホール(町民サロン)
10	上市町	11月29日(火)～12月8日(木)	役場1階ロビー正面
11	射水市	12月13日(火)～12月22日(木)	市役所1階ロビー正面
12	滑川市	1月10日(火)～1月19日(木)	市役所本館1階入口付近
13	黒部市	1月24日(火)～2月2日(木)	市役所行政棟エントランスホール
14	入善町	2月7日(火)～2月16日(木)	役場1階玄関ロビー
15	朝日町	2月21日(火)～3月2日(木)	役場1階ロビー
16	魚津市	3月7日(火)～3月16日(木)	市役所1階ロビー正面

※なお、各市町村での展示の初日には、所管の県農林振興センター所長から市町村長等へ手渡しを行う。

木製地球儀とは

21世紀は地球環境の時代であり、森林・林業がさらに重要な役割を担うというイメージを「木製の地球儀」で表現しています。

21世紀最初の全国植樹祭が開催された「第52回全国植樹祭やまなし2001」において、新たな歴史を築いていく象徴として作成され、綿貫民輔大会会長(当時)から山梨県知事に交付され、以来、全国植樹祭のシンボルとして開催県に引き継がれています。

- ・素材・・・地球(ヒノキ)、葉(ナラ)、基台(ケヤキ)
- ・サイズ・・・高さ(60cm)、幅(50cm)、重さ(14.7kg)



平成 27 年度 事業報告

1 実行委員会の開催

(1) 総会の開催

- 第 3 回 日時：平成 28 年 1 月 22 日（金）
内容：基本計画の策定について
収支及び取組状況について
今後のスケジュールについて

(2) 幹事会の開催

- 第 3 回 日時：平成 27 年 12 月 16 日（水）
内容：基本計画の検討について
収支決算等について
今後のスケジュールについて

2 基本計画策定等

式典行事、植樹行動、会場整備、宿泊輸送などについて基本計画を策定し、その具体的内容を定める実施計画の検討を進めた。

また、式典に使用する映像素材を撮影、収集した。

○ 実施計画等作成業務委託者

第 68 回全国植樹祭を大成功させる会（共同企業体）

（共同企業体 構成員 （株）チューリップテレビ（代表者）、
（株）北日本新聞、（株）スカイインテック、
（株）電通西日本、（株）電通 5 社の共同企業体）

3 会場整備

(1) お野立所の設計

全国植樹祭のシンボルとなる、お野立所の新築工事設計のプロポーザル審査委員会を開催（平成 27 年 8 月 20 日）し、最優秀提案者を決定

○最優秀提案者 （株）創建築事務所

(2) 植樹会場の整備【県執行】

メイン会場となる魚津桃山運動公園内の植樹会場を整備
整備面積：8.4ha、事業主体：魚津市

4 開催機運の醸成

(1) 苗木の育成【県執行】

全国植樹祭で植樹する苗木を、苗木のホームステイ（県内の小中学校、花とみどりの少年団、森林ボランティア団体・企業など 142 団体、6,750 本）や、県森林研究所など関係機関で育成

(2) 県産材を使用したベンチ、プランターカバーの製作【県執行】

ベンチ 300 基、プランターカバー1,000 基を製作

製作品の一部は、第 35 回全国豊かな海づくり大会で使用し木の良さを広く PR

(3) 森づくりイベントなどでの PR

- ① とやまの森づくりボランティア交流会（4月 29 日・南砺市利賀村栃原地内）
コナラ、ミズナラの植樹（約 1,000 本）
- ② とやま森の祭典・県民参加の森づくりフェア
（5月 22 日・入善町五十里地内「入善海岸」）
 - ・海岸防災林の整備（クロマツなどを植樹）
 - ・森・川・海で活動する小学生による活動発表や「キジハタ」の記念放流など
- ③ 県民参加の森づくりフォーラムの開催（11 月 14 日・富山市「富山県民会館」）
 - ・パネルディスカッション（石井知事、森づくり関係者）
テーマ：とやまの森づくり～豊かな森を守り育て、未来へ引継ぐために～
 - ・特別講演（講師：葛城奈海氏）
演 題：「これからの森づくり」

(4) 森づくりと海づくりの連携による PR

- ① 第 35 回全国豊かな海づくり大会（10 月 24, 25 日・射水市「海王丸パーク」）
 - ・フォレストリーダーによる木工体験や苗木の植付体験教室
 - ・県産材遊具やとやまの森づくり活動のパネル展示 など
- ② 海岸林を育む集い（9月 19 日・富山市海岸通りほか地内）
 - ・海岸林の植樹（クロマツの苗木 800 本）
 - ・海岸の清掃や稚魚の記念放流（クロダイ）

(5) 大会ポスター原画の選定

富山県内小・中学校の児童生徒から応募のあった 654 点の作品の中から、審査委員会（委員長：田添 等楊 画家）において、大会ポスター原画を選定

大会ポスターを作成し（1,000 部）、関係機関へ配付のほかイベント等で活用

(6) 大会 PR 用公式 HP の開設

第 68 回全国植樹祭とやま 2017 公式サイトを開設し、開催に向けた取り組みや各種情報を提供（URL <http://www.68syokujusai-toyama.jp/>）

(7) 全国植樹祭だよりの発行

創刊号（11 月）を発行し（7,000 部）、関係機関やイベント等で配付

平成27年度 収支決算

1 収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	収入済額	増減	摘 要
(1) 負担金	12,470,000	12,470,000	0	県負担金
(2) 雑収入	0	1,859	1,859	預金利息
(3) 前年度繰越金	0	2,144,887	2,144,887	
計	12,470,000	14,616,746	2,146,746	

2 支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	執行済額	増減	摘 要
(1) 実行委員会等会議費	1,000,000	367,258	▲ 632,742	
(2) 基本計画等策定費	5,870,000	5,574,051	▲ 295,949	実施計画等の作成委託 映像素材の収集委託
(3) 大会広報・機運醸成費	2,500,000	2,540,486	40,486	のぼり旗、大会広報チラシ、 大会ポスター、HP保守管 理委託
(4) 式典会場設営費	3,000,000	3,348,570	348,570	お野立所のプロポーザル お野立所の設計委託
(5) 事務局運営費	100,000	0	▲ 100,000	
計	12,470,000	11,830,365	▲ 639,635	

差引決算残余	0	2,786,381	2,786,381	翌年度へ繰越
--------	---	-----------	-----------	--------

平成28年度 事業計画（案）

1 実行委員会の開催

(1) 総会の開催

- ・開催数：2回（7月、1月）
- ・内容：実施計画の策定など

(2) 幹事会の開催

- ・開催数：2回（7月、12月）
- ・内容：実施計画の原案の作成など

2 実施計画の策定

基本計画にもとづき、式典、植樹、関連行事の会場設営、演出等の実施計画を策定する。なお、策定にあたっては、原案の策定業務を民間委託する。

3 大会開催に向けた準備活動

(1) 式典会場の整備・設営

式典会場の詳細測量及び基盤整備のための設計をはじめ、式典会場の基盤整備を行う。

また、式典会場及び植樹会場に設置する木製テント、木製フェンス、ベンチ及びプランタカバー等を、県産材を使って製作する。

(2) 式典の運営と宿泊輸送

式典プログラムの企画やアトラクションの演出制作、宿泊・輸送体制の実施計画を策定する。

4 大会広報と機運の醸成

(1) 1年前プレ大会の開催

大会1年前の時期に、従来の「とやま森の祭典」を1年前イベントとして位置づけ実施

- ・日時 平成28年5月22日（日） 10:00～14:00
- ・場所 魚津桃山運動公園（全国植樹祭式典会場と同じ会場）
- ・規模 参加者3,000人程度

(2) サポートセンターを通じた森づくりイベントの開催

ア 森づくりボランティア交流会

- ・日時 平成28年4月23日（土） 10:00～14:30
- ・場所 富山市東黒牧地内（富山国際大学敷地内）
- ・規模 参加者250名程度

イ 森づくりボランティアの集い

- ・日時 平成28年9月下旬
- ・場所 県民公園太閤山ランド（射水市）

(3) 木製地球儀の巡回展示

全国植樹祭のシンボルとなる「木製地球儀」を県内全市町村で巡回展示

(4) カウントダウンイベントの開催

開催日決定を受けて、開催日までのカウントダウンイベントを実施

(5) PRキャラバン隊

大会キャラクターの「きときと君」を隊長としたPRキャラバン活動を実施

(6) 大会ポスター、PRグッズ等によるPR

大会公式ポスターや関連行事ポスター・チラシなどの印刷物、広報誌等を活用した広報活動を展開するほか、大会キャラクター「きときと君」を活用した広報グッズ等によるPR

(7) 植樹祭だよりの発行やホームページの運営

5 大会実施本部の設置

大会の円滑な実施のため、富山県職員等で構成する「第68回全国植樹祭富山県実施本部」（仮称）を設置する。

大会の運営準備の進捗に合わせ、必要に応じて、本部員会議、部長・班長会議、班員会議を開催する。

平成28年度 収支予算(案)

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	摘要
(1) 負担金	195,980,000	県負担金
(2) 雑収入	1,000	預金利息
(3) 前年度繰越金	2,786,381	
計	198,767,381	

2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額	摘要
(1) 実行委員会等会議費	1,000,000	実行委員会、幹事会開催
(2) 計画策定費	1,212,000	実施計画書の印刷製本
(3) 大会広報・機運醸成費	10,000,000	木製地球儀巡回展示、カウントダウンイベント、PRキャラバン隊等
(4) 会場基盤整備費	23,550,000	式典会場整備
(5) 式典運営費	56,766,000	式典運営(企画・演出等)、招待者管理等
(6) 式典会場設営費	97,324,000	御机等、ベンチ・プランターカバー、木製仮設工作物等製作、飾花用花苗育成
(7) 宿泊輸送費	4,000,000	宿泊輸送体制の実施計画策定、輸送管理マニュアル作成
(8) 事務局運営費	2,628,000	スタッフジャンパー、帽子作成、消耗品、振込手数料等
(9) 予備費	2,287,381	
計	198,767,381	

今後のスケジュールについて

時 期	内 容
7/20(水)	・ 第4回実行委員会総会 実施計画中間とりまとめ（案）の審議・承認
8月上旬	・ （公社）国土緑化推進機構理事会 開催日の決定
12月	・ 第5回実行委員会幹事会 実施計画（案）の検討
平成29年 1月	・ 第5回実行委員会総会 実施計画（案）の策定
2月	・ （公社）国土緑化推進機構特別委員会 実施計画（案）の承認

前回総会（H28.1.22）での意見に対する対応（案）

今回の中間報告とりまとめ(案)に反映した内容はゴシック、報告書のページを記載

項目	意見	対応（案）
全体	他県との違いを打ち出すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ・会場が立山連峰と富山湾を望める素晴らしい眺望で開放的なロケーション（P5） ・越中万葉の朗唱（P9） ・「14歳の挑戦」で森や海に関わる就業体験をした中学生の発表（P9） など富山らしさを打ち出す。
式典行事計画	全国トップレベルにある富山県の洋舞を活用すべき。	子供たちが中心となって、壮大でクオリティの高いオリジナルの創作舞踊により、富山の「森」「川」「海」のつながりを表現（P8）
	21世紀は水の世紀となる。水が豊富な富山県をしっかりとアピールすべき。	富山の豊かな「水」とそれを支える豊かな「森」、そして、「森」「川」「海」のつながりを、大会テーマ及び式典での創作舞踊、越中万葉、「14歳の挑戦」の中学生の発表など、様々な場面で表現（P3, 8, 9）
	県民が自然を大事にしている思いを発信すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ・式典において、「14歳の挑戦」で「森」や「海」で就業体験をした中学生が森や海の保全への思いを発表（P9） ・エピローグで、森づくりボランティアなどの団体（約170団体）が勢揃いし、とやまの森づくりに対する思いを発信（P10）
	大会では、若い子供たちがたくさん参加できるようにしていただきたい。	式典では、 <ul style="list-style-type: none"> ・花とみどりの少年団 ・「14歳の挑戦」の中学生 ・小・中学生中心の創作舞踊 など、随所に子供たちが出演（P8, 9）
植樹行事計画	「立山 森の輝き」を再生林の切り札として、しっかり打ち出すこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・黒部市田糶、魚津市三ヶで伐採跡地に「立山 森の輝き」を植栽（P16, 20） ・「立山 森の輝き」を天皇陛下のお手植え樹種として計画（P12）
	<ul style="list-style-type: none"> ・県外の参加者と富山の方が触れ合う機会があればよい。 ・植樹の際、地元と触れ合い、PRする場があればよい。 	それぞれの植樹会場において、地元の方々と県外招待者との交流の機会を創出する計画（P16）
会場整備計画	県産材をしっかりと使い、PRすること。	県産材をふんだんに使ったお野立て所を設置するほか、県産材を活用した大会初の本製テントを設置（P26, 27）
	仮設トイレの設置について、混雑しないよう配慮が必要。	先催の状況を調査して、必要数やその設置場所を計画するほか、案内サインの充実など、混雑回避に向け総合的に対応

第68回全国植樹祭富山県実行委員会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この会は、第68回全国植樹祭富山県実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 実行委員会は、「第68回全国植樹祭」（以下「全国植樹祭」という。）を開催し、県民参加による健全な森づくりの一層の推進と森林資源の循環利用の促進による林業再生を図るとともに、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育てる県民の活発な実践活動やそこで育まれた歴史・文化など本県の数多くの魅力を全国にアピールし、緑あふれる自然といきいきと人が輝くふるさとを未来へつなぐために必要な事業を行うことを目的とする。

(事 業)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1) 全国植樹祭の開催に必要な企画及び運営に関すること。
- (2) 関係機関及び団体との連絡調整等に関すること。
- (3) その他目的を達成するために必要な事業に関すること。

第2章 組 織

(構 成)

第4条 実行委員会は、会長、副会長、委員、監事及び参与（以下「委員等」という。）をもって構成する。

- 2 会長は、富山県知事をもって充てる。
- 3 副会長は、富山県議会議長、（公社）とやま緑化推進機構理事長、開催地市町村長をもって充てる。
- 4 委員は、別表1に掲げる職にある者をもって充てる。
- 5 監事は、富山県会計管理者及び開催地市町村の会計管理者をもって充てる。
- 6 参与は、別表1に掲げる職にある者をもって充てる。

(委員等の職務)

第5条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき及び会長が特定の行為につき委任したときは、あらかじめ会長が指名した副会長が、その職務を代理する。
- 3 委員は、この会則に従い議事の審議を行う。
- 4 監事は、会計の監査に当たる。
- 5 参与は、全国植樹祭の具体的運営方法に関し、助言するものとする。

(委員等の任期)

第6条 委員等の任期は、第16条の規定により実行委員会が解散する日までとする。ただし、就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体の役職を離れたときは、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

- 2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解くことができる。

(委員等の報酬及び旅費)

第7条 委員等への報酬及び旅費は、支給しないものとする。ただし、会長が必要と認

めた場合には支給することができる。

- 2 前項ただし書の規定により旅費を支給する場合には、富山県職員の例に準じて支給することとする。

第3章 会議

(総会)

第8条 実行委員会の総会（以下「総会」という。）は、会長、副会長及び委員（以下「実行委員」という。）並びに参加が出席する。

- 2 総会は、会長が招集し、その議長となる。
- 3 総会は、次に掲げる事項を審議し、決定する。
 - (1) 会則の制定及び改廃に関する事。
 - (2) 全国植樹祭の企画及び運営の基本的事項に関する事。
 - (3) 事業計画、予算及び決算に関する事。
 - (4) その他全国植樹祭の開催に関し重要な事項に関する事。
- 4 総会は、実行委員の過半数が出席しなければ、開会し、議決することができない。ただし、総会に出席できない者は、あらかじめ通知された事項について代理人にその権限を委任し、又は書面をもって議決に加わることができるものとする。
- 5 総会の議事は、出席した実行委員（代理人にその権限を委任し、又は書面をもって議決に加わった者を含む。）の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決すところによる。
- 6 会長は、必要があると認めるときは、総会に実行委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。
(会長の専決処分)

第9条 会長は、緊急を要し総会を招集する時間的余裕がないと認めるときは、前条第3項各号に掲げる事項について専決処分することができる。

- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、次の総会にこれを報告し、その承認を得なければならない。

第4章 幹事会

(幹事会)

第10条 実行委員会に幹事会を置く。

- 2 幹事会は、幹事長、副幹事長、幹事（以下「幹事等」という。）をもって構成し、会長が委嘱する。
- 3 幹事長は、富山県農林水産部長をもって充て、幹事会の総括を行う。
- 4 副幹事長は、(公社)とやま緑化推進機構専務理事、開催地市町村の副市町村長、富山県農林水産部次長をもって充て、幹事長を補佐し、幹事長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 5 幹事は、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 6 第6条及び第7条の規定は、幹事会において準用する。この場合において、「委員等」とあるのは「幹事等」と読み替えるものとする。

(幹事会の会議)

第11条 幹事会の会議は、幹事等が出席する。

- 2 幹事会の会議は、幹事長が招集し、その議長となる。
- 3 幹事会の会議は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 総会に付議すべき事項に関する事。
 - (2) 緊急に審議し、決定することが必要な事項に関する事。
 - (3) 第8条第3項各号に掲げる事項以外で、全国植樹祭の実施に関して必要な事項に関する事。
 - (4) その他会長が必要と認める事項に関する事。
- 4 幹事会は、前項第1号、第2号及び第4号に掲げる事項を審議し、決定したときは、次の総会にこれを報告しなければならない。
 - 5 第8条第4項から第6項までの規定は、幹事会において準用する。この場合において「総会」とあるのは「幹事会の会議」と、「会長」とあるのは「幹事長」と、「実行委員」とあるのは「幹事等」と読み替えるものとする。
 - 6 前条及び前4項に定めるもののほか、幹事会に必要な事項は、会長が別に定める。

第5章 事務局

(事務局)

第12条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を富山県農林水産部内に置く。

- 2 事務局の組織及び運営に関して必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 経費及び会計

(経費)

第13条 実行委員会の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

(事業計画、予算及び決算)

第14条 実行委員会の事業計画及び収支予算は、総会の議決により定め、収支決算は、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

(会計年度)

第15条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

- 2 実行委員会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定めるもののほか、富山県の財務に関する諸規程に準ずるものとする。

第7章 解散

(解散)

第16条 実行委員会は、その目的が達成され、事業報告を行った後に、総会の議決を経て解散するものとする。

- 2 実行委員会が解散するときに有する残余財産は、富山県に帰属するものとする。

第8章 補則

(補則)

第17条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附則

- 1 この会則は、平成26年5月30日から施行する。
- 2 実行委員会設立当初の会計年度は、第15条第1項の規定にかかわらず、実行委員会設立の日から平成27年3月31日までとする。

別表1 (第4条関係)

役 職	各団体における役職
会 長	富山県知事
副 会 長	富山県議会議長 (公社)とやま緑化推進機構理事長 魚津市長
委 員	富山大学学長 富山国際大学学長 富山県議会農林水産委員会委員長 林野庁中部森林管理局長 富山県山林協会会長 富山県森林組合連合会代表理事会長 富山県木材組合連合会会長 (公社)富山県農林水産公社理事長 富山県素材生産組合理事長 富山県林業研究グループ協議会会長 富山県樹苗緑化協同組合理事長 (一社)富山県緑化造園土木協会会長 (公財)花と緑の銀行理事長 富山県花とみどりの少年団連絡協議会会長 富山県農業協同組合中央会会長 富山県土地改良事業団体連合会会長 富山県漁業協同組合連合会代表理事会長 富山県内水面漁業協同組合連合会代表理事会長 (一社)富山県建設業協会会長 (一社)富山県建築組合連合会会長 (公社)富山県建築士会会長 富山県商工会議所連合会会長 富山県商工会連合会会長 (一社)富山県経営者協会会長 富山経済同友会代表幹事 (公社)とやま観光推進機構会長 富山県婦人会会長 富山県母親クラブ連合会会長 (福)富山県社会福祉協議会会長 (公財)とやま環境財団理事長 (公財)環日本海環境協力センター理事長 (一社)富山県芸術文化協会会長 富山県PTA連合会会長 西日本旅客鉄道(株)金沢支社支社長 (公社)富山県バス協会会長 富山県タクシー協会会長 富山市長

	高岡市長 氷見市長 滑川市長 黒部市長 砺波市長 小矢部市長 南砺市長 射水市長 舟橋村長 上市町長 立山町長 入善町長 朝日町長 魚津市議会議長 富山県知事政策局長 富山県観光・地域振興局長 富山県生活環境文化部長 富山県厚生部長 富山県農林水産部長 富山県土木部長 富山県教育長 富山県警察本部長
監 事	富山県会計管理者 魚津市会計管理者
参 与	(株)北日本新聞社代表取締役社長 (株)富山新聞社代表 (株)読売新聞東京本社北陸支社富山支局長 (株)朝日新聞社富山総局長 (株)毎日新聞社富山支局長 (株)中日新聞社北陸本社富山支局長 (株)日本経済新聞社富山支局長 (一社)共同通信社富山支局長 (株)時事通信社富山支局長 日本放送協会富山放送局長 北日本放送(株)代表取締役社長 富山テレビ放送(株)代表取締役社長 (株)チューリップテレビ代表取締役社長 (株)テレビ朝日富山支局長 富山エフエム放送(株)代表取締役社長 (株)日刊工業新聞社富山支局長 (一社)富山県ケーブルテレビ協議会

別表2 (第10条関係)

役 職	各団体における役職
幹 事 長	富山県農林水産部長
副幹事長	(公社)とやま緑化推進機構専務理事 魚津市副市長 富山県農林水産部次長
幹 事	富山大学人間発達科学部長 富山国際大学現代社会学部教授 林野庁中部森林管理局富山森林管理署長 富山県山林協会専務理事 富山県森林組合連合会代表理事専務 富山県木材組合連合会副会長・専務理事 (公社)富山県農林水産公社専務理事 (とやまの森づくりサポートセンター所長) 富山県素材生産組合事務局長 富山県林業研究グループ協議会会長 富山県樹苗緑化協同組合事務局長 富山県緑化造園土木協会専務理事 (公財)花と緑の銀行専務理事 富山県花とみどりの少年団連絡協議会副会長 草刈り十字軍運動本部事務局次長 富山県フォレストリーダー協会会長 富山県農業協同組合中央会専務理事 富山県土地改良事業団体連合会専務理事 富山県漁業協同組合連合会代表理事専務 富山県内水面漁業協同組合連合会事務局長 (一社)富山県建設業協会専務理事 (一社)富山県建築組合連合会副会長 (公社)富山県建築士会専務理事 富山県商工会議所連合会常任理事・事務局長 富山県商工会連合会専務理事 (一社)富山県経営者協会専務理事 富山経済同友会環境問題委員会委員長 (公社)とやま観光推進機構副会長・専務理事 富山コンベンションビューロー常務理事 富山県いきいき物産(株)営業部長 宇奈月温泉女将の会「かたかご会」会長 富山県婦人会理事 (福)富山県社会福祉協議会専務理事・事務局長 (公財)とやま環境財団専務理事 (公財)環日本海環境協力センター常務理事・事務局長 (一社)富山県芸術文化協会専務理事 富山県PTA連合会副会長 西日本旅客鉄道(株)金沢支社富山地域鉄道部長 (公社)富山県バス協会専務理事 富山県タクシー協会専務理事

	あいの風とやま鉄道(株)代表取締役副社長 富山空港ターミナルビル(株)代表取締役専務 富山地方鉄道(株)専務取締役 富山市副市長 高岡市副市長 氷見市副市長 滑川市副市長 黒部市副市長 砺波市副市長 小矢部市副市長 南砺市副市長 射水市副市長 舟橋村副村長 上市町副町長 立山町副町長 入善町副町長 朝日町副町長 魚津市産業建設部長 富山県知事政策局次長 富山県観光・地域振興局次長 富山県経営管理部次長 富山県生活環境文化部次長 富山県厚生部次長 富山県商工労働部次長 富山県土木部次長 富山県教育委員会教育次長 富山県警察本部警備部長
--	---